



# 吉野川水系流域治水プロジェクト 取り組み状況について ～令和7年度末時点進捗状況～

令和8年3月17日

吉野川流域治水協議会

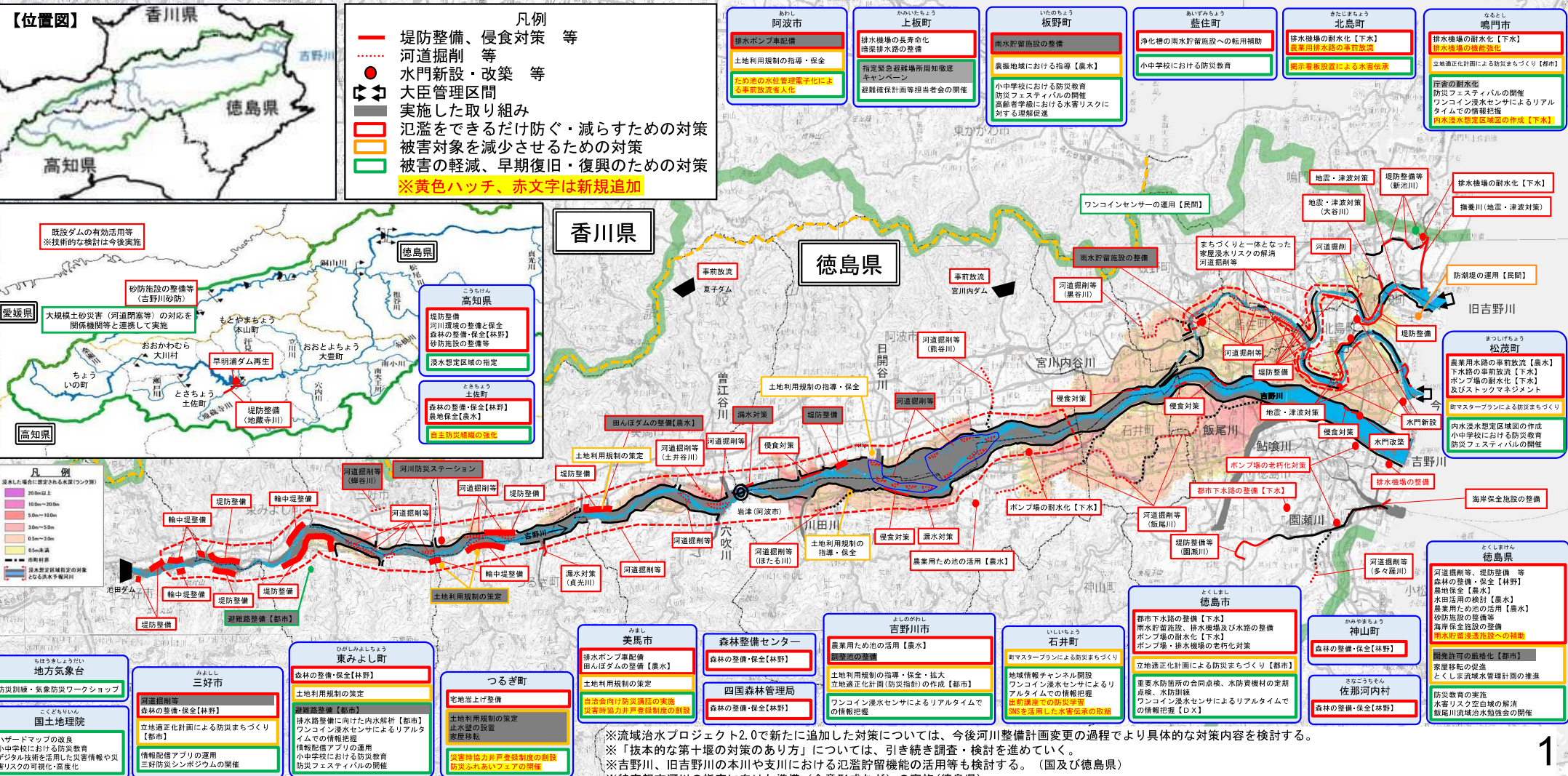
吉野川下流大規模氾濫に関する減災対策協議会

吉野川中流大規模氾濫に関する減災対策協議会

# 吉野川流域治水プロジェクト【位置図】

～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

- 吉野川及び旧吉野川では、国管理区間において、吉野川は戦後最大流量を記録した平成16年10月洪水、旧吉野川は戦後最大流量を記録した昭和50年8月洪水が、気候変動（2℃上昇）を考慮し流量が増加した場合においても、（降雨量を1.1倍とした場合）目標とする治水安全度を確保し、追加の対策により浸水被害の防止を図る。
- 吉野川は、既設ダムの有効活用、河道掘削等、遊水地等の新たな洪水調節機能の確保により洪水を安全に流下させる。
- 旧吉野川は、無堤地区については、堤防整備・宅地嵩上げ・家屋移転など、まちづくりと一体となった家屋浸水リスクの解消に取り組むものとし、河道掘削等、遊水地等の新たな洪水調節機能の確保と合わせ家屋浸水被害の防止を図る。
- また、上記対策の実施にあたっては、河川環境の保全・創出のため多自然川づくりを推進する。



氾濫を防ぐ・減らす	被害対象を減らす	被害の軽減・早期復旧・復興
<p>○気候変動を踏まえた治水計画への見直し (2℃上昇下でも目標安全度維持) &lt;具体の取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河道掘削の更なる推進及び河道掘削残土の有効活用、堤防整備、輪中堤整備、まちづくりと一体となった家屋浸水リスクの解消、水門新設・改築、早明浦ダム再生</li> </ul> <p>○流域対策の目標を定め、役割分担に基づく流域対策の推進 &lt;具体の取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸保全施設の整備</li> <li>・雨水貯留施設の整備、雨水貯留施設への転用補助、雨水貯留槽の設置補助、調整池の整備、宅地嵩上げ整備</li> <li>・都市下水路及び公共下水道（雨水）の整備、排水機場・ポンプ場の耐水化・長寿命化、下水路の事前放流【下水】</li> <li>・農業用ため池の活用、水田活用の検討、農業用水路の事前放流、農地保全、田んぼダムの整備【農水】</li> <li>・排水機場及び水路の整備【道路】</li> <li>・<b>雨水貯留浸透施設への補助</b></li> </ul> <p>○あらゆる治水対策の総動員 &lt;具体の取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・砂防施設の整備、排水ポンプ車配備、森林の整備・保全【林野】、河川環境の整備と保全</li> </ul> <p>○溢れることも考慮した減災対策の推進 &lt;具体の取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・侵食対策、漏水対策、河川防災ステーション、地震津波対策</li> </ul> <p>○既存ストックの徹底活用 &lt;具体の取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利水ダム等18ダムにおける事前放流等の実施体制構築</li> <li>・既設ダムの有効活用等</li> </ul>	<p>○溢れることも考慮した減災対策の推進 &lt;具体の取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・止水壁の設置、家屋移転</li> <li>・まちづくりと一体となった家屋浸水リスクの解消 (立地適正化計画の作成及びマスタープランの見直し等の防災まちづくりの推進)</li> <li>・土地利用規制の策定・指導・保全・拡大</li> <li>・農振地域における指導【農水】</li> </ul> <p>○民間資金等の活用 &lt;具体の取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防潮堤の運用【民間】</li> <li>・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説</li> <li>・市街化調整区域内の浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【都市】</li> <li>・とくしま流域水管理計画の推進</li> <li>・立地適正化計画（防災指針）の作成【都市】</li> </ul>	<p>○流域対策の目標を定め、役割分担に基づく流域対策の推進 &lt;具体の取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難路整備【都市】</li> <li>・水害リスク空白域の解消</li> <li>・浸水想定区域図の作成（外水、内水）</li> <li>・排水路整備に向けた内水解析【都市】</li> </ul> <p>○多面的機能を活用した治水対策の推進 &lt;具体の取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町長との重要水防箇所合同巡視</li> <li>・水害リスクの高い区間における監視体制の整備</li> <li>・ソフトインフラを活用した避難訓練</li> <li>・小中学校における防災教育の更なる推進</li> <li>・地域情報チャンネルの開設</li> <li>・避難確保計画等担当者の開催</li> <li>・庁舎の耐水化</li> <li>・ハザードマップ、タイムラインの改良</li> <li>・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取り組み</li> <li>・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保</li> <li>・重要水防箇所の合同点検、水防資機材の定期点検、水防訓練</li> <li>・情報配信アプリの運用</li> <li>・防災フェスティバルの開催</li> <li>・大規模土砂災害（河道閉塞等）の対応を関係機関等と連携して実施</li> <li>・高齢者学級における水害リスクに対する理解促進</li> <li>・避難判断に資する水害リスクを踏まえた「洪水の勘どころ」作成</li> <li>・<b>SNSや掲示板を活用した水害伝承の取組</b></li> <li>・<b>災害時協力井戸登録制度の創設</b></li> </ul> <p>○インフラDX等の新技術の活用 &lt;具体の取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワンコイン浸水センサによるリアルタイムでの情報把握</li> <li>・デジタル技術を活用した防災情報や災害リスクの可視化・高度化</li> <li>・<b>ため池の水位管理電子化による事前放流省人化</b></li> </ul>

# 吉野川水系流域治水プロジェクト【位置図】

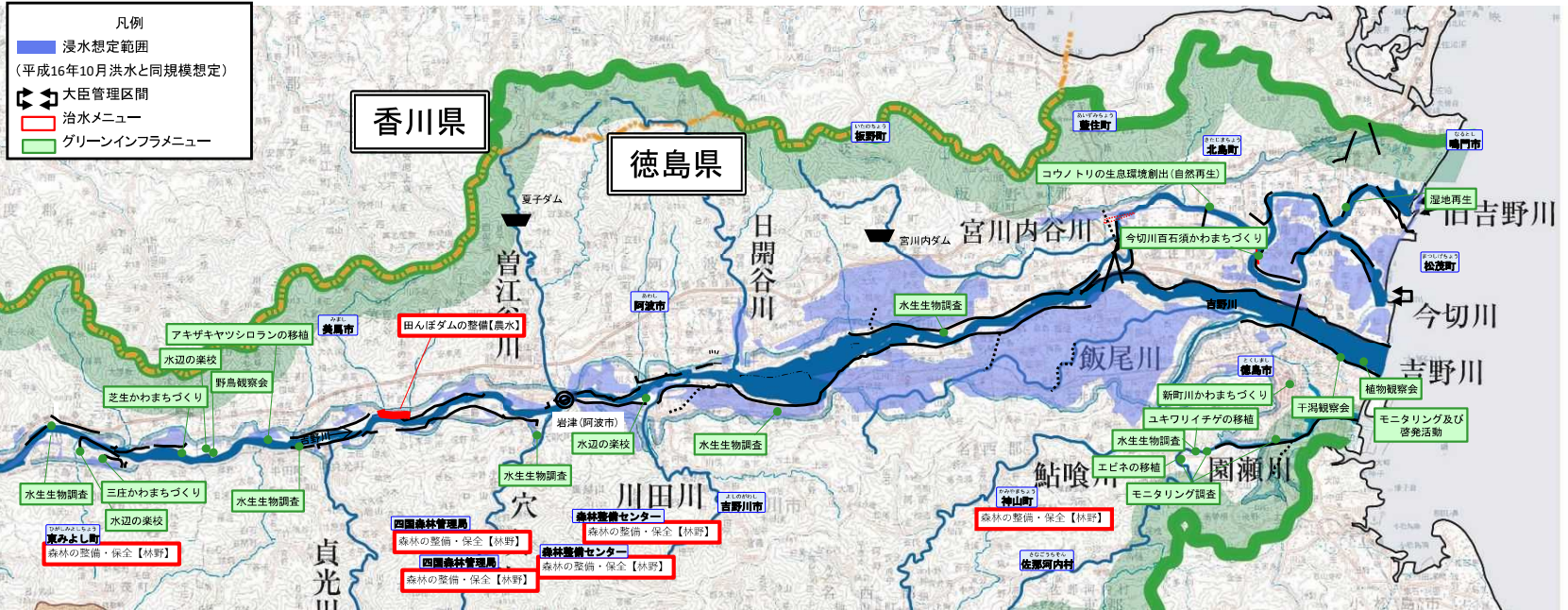
～日本一の暴れ川から命と資産を守る流域治水対策～

## ●グリーンインフラの取り組み 『吉野川水系の自然環境の再生にむけて』



○昭和50年頃の吉野川中流域～下流域(池田ダム～第十堰湛水域上流端)は、広いレキ河原があり、コアシサシ等の鳥類の繁殖地として利用されていた。また、吉野川下流域における汽水域(第十堰～河口)は、これまで、河川と海の影響を受ける特有の環境であり、多くの生物にとって良好な生息・生育・繁殖の場となっている。河口干潟は、日本重要湿地500に選定されており、シオマネキ等の底生動物が生息している他、シギ・チドリ類の重要な中継地となっている。昭和30年頃の旧吉野川、今切川は、ワンドや湿地が多数存在し、堤内地の水田やハス田は、河川との連続性があり、多くの重要種が生息していた。

○吉野川水系自然再生計画に基づき、昭和50年頃の吉野川、昭和30年頃の旧吉野川の自然環境へ再生を目指し、ワンド・湿地の保全・再生、河川と水田の連続性の保全、レキ河原や水辺のなだらかな連続性(エコトーン)の保全・再生、干潟環境の保全等の整備を行い、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進することで、概ね2050年までに、多様な動植物の生息・生育・繁殖場環境の回復に努める。



- **自然環境の保全・復元などの自然再生**  
レキ河原の保全・再生、水辺のなだらかな連続性(エコトーン)の保全・再生、干潟・湿地環境の保全、ワンド・湿地再生、河川・水田・ハス田の連続性の保全
- **生物の多様な生息・生育環境の保全・創出による生態系ネットワークの形成**  
大型水鳥等の採食地の保全・創出、休耕地を利用した通年湛水によるピオトープ創出、冬期の水位調節による浅場の確保、農業・化学肥料の低減による生息環境の創出
- **治水対策における多自然川づくり**  
生物の多様な生育環境、河川景観の保全
- **魅力ある水辺空間・賑わい創出**  
早明浦ダム周辺地区かわまちづくり、水辺の楽校を活用した環境学習
- **自然環境が有する多様な機能活用の取り組み**  
地元地域における河川環境学習(水生生物調査、干潟観察会、植物観察会等)  
徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会

【全域に係る取組】

- ・吉野川流域における生態系ネットワーク形成を目標とした、河川環境の創出
- ・改修工事箇所における重要種の保全対策として、移植・モニタリングを行う
- ・旧吉野川・今切川の堤防耐震対策工事において、干潟環境及びヨシ原の創出
- ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援



自然再生、生物の多様な生息・生育環境の保全・創出



魅力ある水辺空間・賑わい空間の創出



自然環境が有する多様な機能活用への取り組み

# 吉野川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～日本一の暴れ川から命と資産を守る流域治水対策～

○吉野川は、岩津下流の扇状地への拡散型の氾濫、岩津上流の川沿いの閉鎖・流下型の氾濫が発生する流域の特徴を踏まえ、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町、関係機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】吉野川流域での浸水被害を防ぐため、本川では堤防等の整備と併せて土地利用規制、支川では河道掘削、雨水貯留施設の整備等の対策を実施。

【中期】施設能力を上回る洪水に対応するため、早明浦ダム再生を実施。内水被害を受けやすい下流域では、調整池の整備や排水機場の耐水化等を実施。

【中長期】残る未整備箇所対策と併せて土地利用規制を実施、流下断面が不足する区間のために河道掘削を並行して行い、流域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備 早明浦ダム再生 等	国土交通省、水資源機構 徳島県、高知県、三好市	吉野川下流部 築堤完了	早明浦ダム 再生完了	堤防整備 河道掘削完了
	利水ダム等18ダムにおける 事前放流等の実施	四国電力(株)、電源開発(株) 住友共同電力(株)、水資源機構 等			
	排水ポンプ車配備 雨水貯留施設の整備 等	徳島市、吉野川市、阿波市 美馬市、藍住町、板野町	排水ポンプ車配備・運用、雨水貯留施設の整備		
	砂防施設の整備等	国土交通省、徳島県、高知県	砂防施設整備の継続		
	都市下水路の整備 排水機場の耐水化 等【下水】	徳島市、鳴門市、吉野川市 松茂町、北島町	耐水化計画の策定 → 排水機場の耐水化		
	農業用ため池の活用、農地保全 田んぼダムの整備 等【農水】	徳島県、吉野川市、松茂町、美馬市、 土佐町、川島東土地改良区 等	農業用ため池の活用、農地保全、田んぼダムの整備		
	森林の整備・保全【林野】	四国森林管理局、森林整備センター、 徳島県、高知県 等	森林の整備・保全の推進		
被害対象を減少させるための対策	土地利用規制の 策定・指導・保全・拡大	吉野川市、阿波市 つるぎ町、東みよし町	土地利用規制の策定	土地利用規制の指導・保全・拡大	
	止水壁の設置、家屋移転	つるぎ町	止水壁の設置、家屋移転		
	防潮堤の運用【民間】	(株)大塚製薬工場 パナソニック(株)	防潮堤の運用		
被害の軽減、 早期復旧・復興のための対策	指定緊急避難場所の認知度向上 避難のためのハザード情報整備 高齢者等避難の実効性確保 等	吉野川中流・下流大規模氾濫に関する 減災対策協議会、中央東土木事務所管 内豪雨に強い地域づくり推進会議	(地域の取組方針) 指定緊急避難場所の 認知度向上 等	(地域の取組方針) R7年度更新	(地域の取組方針) R12年度更新
グリーンインフラの取組	自然再生	国土交通省、徳島県、各市町 等	湿地再生(津慈地区の整備)		
	生態系ネットワークの形成	国土交通省、徳島県、各市町NPO法人 とくしまコウノトリ基金 等	レキ河原の保全・再生、干潟・湿地環境の保全 等 協議会の設置 等		
	早明浦ダム周辺地区 かわまちづくり	国土交通省、本山町、土佐町、 大川村	生態系ネットワーク形成 早明浦ダム周辺地区かわまちづくり		
	地元地域における河川・海岸環境 学習	国土交通省、徳島県 沖洲海浜楽しむ会、徳島大学 等	モニタリング調査 地元地域における河川・海岸環境学習		

■事業規模  
河川対策(約1,784億円)  
砂防対策【国】(約902億円)  
下水道対策(約123億円)

気候変動を  
踏まえた更なる  
対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

# 吉野川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～日本一の暴れ川から命と資産を守る流域治水対策～

戦後最大洪水等に対応した  
河川の整備（見込）



整備率：79%  
(概ね5か年後)

農地・農業用施設の活用



14市町村  
(令和6年度末時点)

流出抑制対策の実施



0施設  
(令和5年度実施分)

山地の保水機能向上および  
土砂・流木災害対策



治山対策等の  
実施箇所 42箇所  
(令和6年度実施分)  
砂防関連施設の  
整備数 3施設  
(令和6年度完成分)  
※施工中 66施設

立地適正化計画における  
防災指針の作成



4市町村  
(令和6年7月末時点)

避難のための  
ハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 64河川  
(令和6年9月末時点)  
内水浸水想定区域 3団体  
(令和6年9月末時点)

高齢者等避難の  
実効性の確保



避難確保 洪水 1483施設  
計画 土砂 252施設  
(令和6年9月末時点)  
個別避難計画 21市町村  
(令和5年1月1日時点)

## 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### 田んぼダムの整備 (徳島県、美馬市)

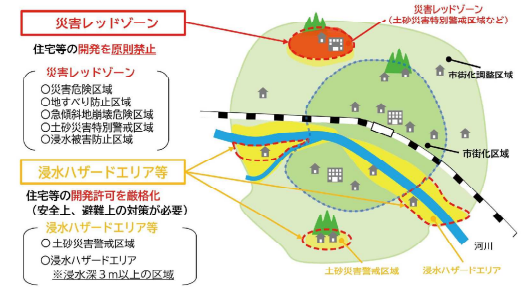


田んぼダム取組エリア  
県内初

**取組概要**  
田んぼダム整備により、洪水時の雨水を貯留し、河川への雨水流入を軽減することで、氾濫リスクの軽減を図る。

## 被害対象を減少させるための対策

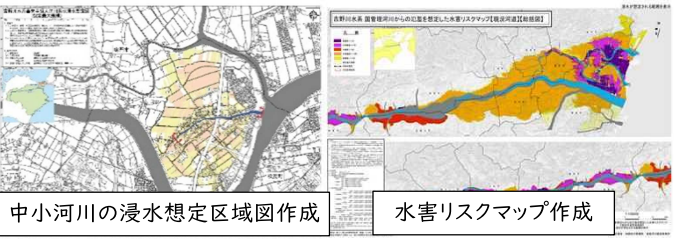
### 浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化 (徳島県)



**取組概要**  
市街化調整区域内の水災害リスクのある範囲について、開発許可を厳格化することで、人的被害軽減を図る。

## 被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

### 水害リスク情報空白域の解消



**取組概要**  
浸水リスクを見える化することで、ハザードマップ作成やまちづくり計画等に活用し、災害時の避難の迅速化や被害の軽減を図る。

## 農業用ため池の活用 (吉野川市)



水位を低下

**取組概要**  
農業用ため池において事前放流及び直前放流を実施し、雨水貯留施設として洪水調節を図る。  
令和3年には、ため池を管理する土地改良区と協定を締結し、運用を開始。

## 災害危険区域を指定 (阿波市、つるぎ町等)



**取組概要**  
水災害リスクのある範囲について、災害危険区域に指定することで、開発抑制を行い人的被害軽減を図る。

## 防災教育の充実



**取組概要**  
消防団等の関係機関と連携し、座学だけでなく体験型学習を活用し防災・減災に関する情報を周知することで災害時の避難の迅速化につなげ、被害軽減を図る。

# 吉野川水系流域治水プロジェクト

## ～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和7年度の取組  
徳島市

### 排水機場及び水路の整備等（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

- 排水機場や水路を整備し、浸水区域の解消や浸水被害の軽減を図っています。
- ポンプ場施設の耐水化に着手し、浸水時における排水機能の確保に努めています。
- 過去に浸水被害が発生した勝占地区の方上町付近において、ワンコイン浸水センサを設置し実証実験を行っています。
- 立地適正化計画による防災まちづくりに努めています。



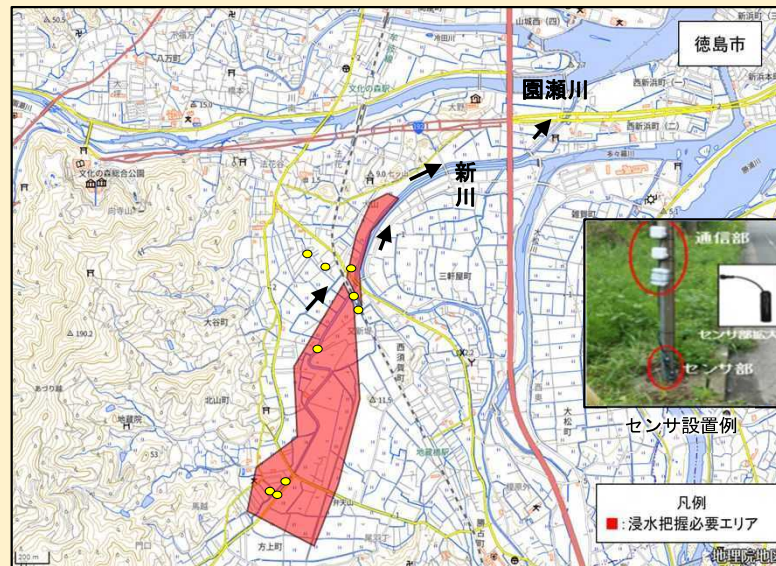
① 排水機場の整備（上八万地区）



② 水路の整備（川内地区）



③ ポンプ場の耐水化（加茂地区）



④ ワンコイン浸水センサの実証実験（勝占地区、方上町付近）

#### 被害対象を減らす

・立地適正化計画による防災まちづくり

(取組状況)  
・立地適正化計画に基づくコンパクトで安全・安心なまちづくりの推進のため、防災・減災対策に計画的かつ着実に取り組むことを目的とした「防災指針」を作成した。

(目標)  
・地域の災害特性を踏まえつつ、ハード・ソフト両面からの総合的な防災・減災対策により、災害リスクの回避・低減を図り、被害を最小限に抑える強靱なまちづくりを目指す。

凡例  
 ■ 中心都市機能誘導区域  
 ■ 地域都市機能誘導区域  
 ■ 居住促進区域  
 ○ 鉄道・駅  
 — 主要道路  
 ■ 都市計画区域  
 ■ 市街化区域

立地適正化計画による  
防災まちづくり

# 吉野川水系流域治水プロジェクト ～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和7年度の取組  
鳴門市

## 河川浚渫による流下能力向上の取組（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

- 排水機場長寿命化計画に沿って、長寿命化工事を実施し施設の適切な機能を維持した。
- 適切な河川断面を確保するため、河川の浚渫を実施した。

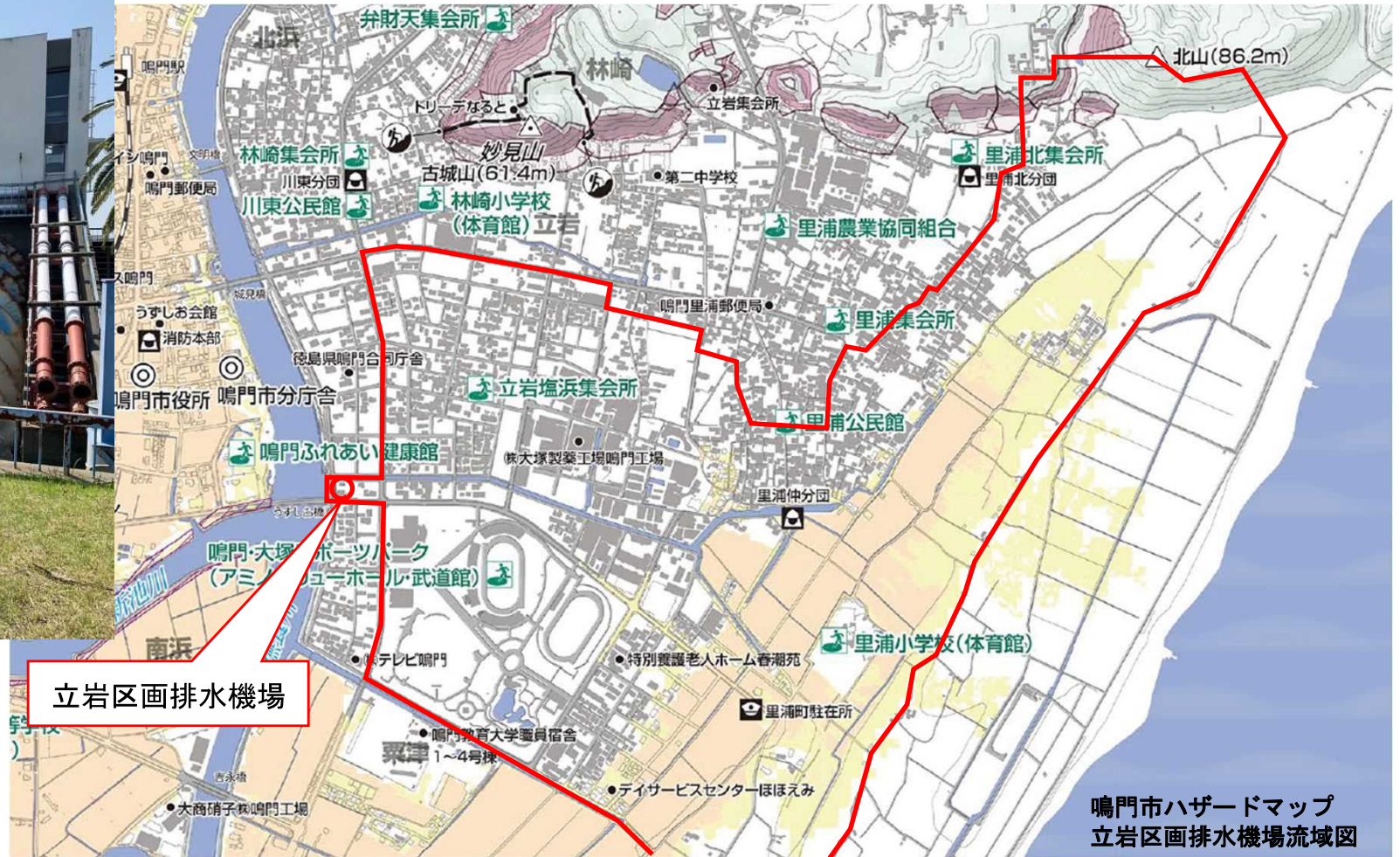


# 吉野川水系流域治水プロジェクト ～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和7年度の取組  
鳴門市

## 排水機場の機能強化（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

- 既存排水機場の改修基本計画に基づく改良工事を実施。



### ■ 事業予定

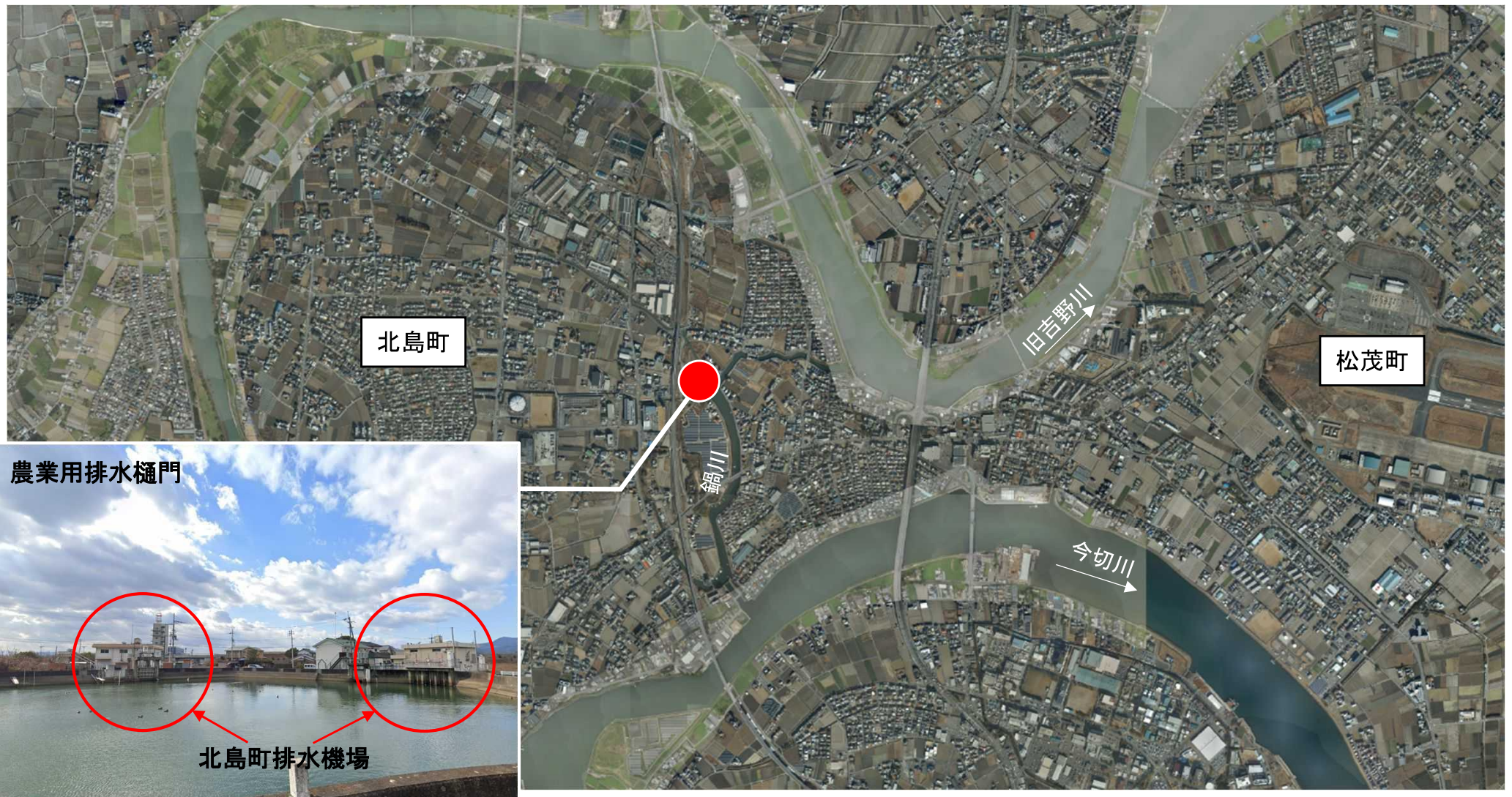
吉野川水系である準用河川の五枚水尾川最下流端に位置する立岩区画排水機場の改良工事を実施し、排水能力の向上を図ります。

# 吉野川水系流域治水プロジェクト ～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和7年度の取組  
北島町

## 農業用排水路の事前放流（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

- 北島町では農業用の排水機場を整備しているが、洪水予想で水位が上昇する可能性がある場合は事前に排水を実施し、農業用水路の水位を下げておくことで、内水被害の軽減を実施。



## 治山事業による森林の整備・保全（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

- 森林の有する水源涵養機能や山地災害防止機能の適切な発揮に向けた治山事業の実施。
- 治山施設：4箇所（溪間工2基・山腹工0.2ha） 本数調整伐：18.3ha

### ○治山ダム工(溪間工)

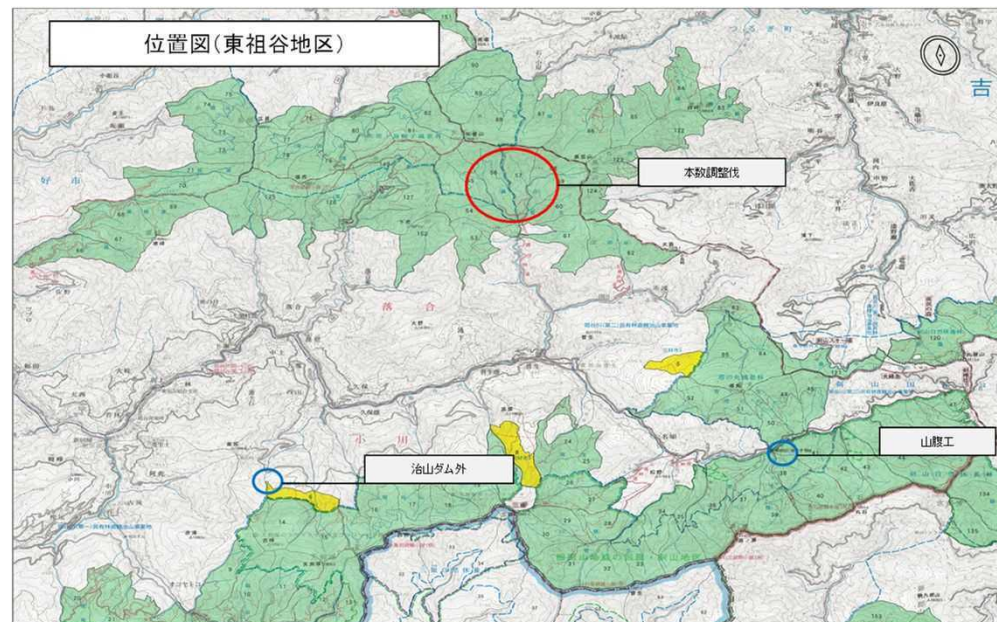
治山ダム工等の施設の設置により、溪岸・溪床の侵食防止や山脚の固定等を図り、森林の生育基盤を確保します。また、流木を捕捉する治山ダムの設置を推進しています。



谷止工及び流路工

### ○山腹工

山腹斜面の安定を目的とする鉄筋挿入工等の施設と植生を回復するための伏工等を崩壊等の特性に応じて配置し、森林を再生します。



### 本数調整伐とは

保安林整備の一つとして、上層木となる立木の本数を調整することにより、植栽木及び稚樹等が健全に成長するために必要な成育空間と光環境を確保するために行うもの。



# 吉野川水系流域治水プロジェクト

～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和7年度の取組  
徳島県 県土整備部

## 堤防整備等、河道掘削・樹木伐採、砂防施設の整備 (氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策)

- 激甚化する豪雨等に対応するため、「流域治水」の考え方のもと、河川区域での堤防整備等をはじめ、集水域での土砂・流木の流出抑制対策など、氾濫防止に向けた取組を推進。

### 河川区域での対策

#### 堤防整備

築堤工事による無堤地区の解消



#### 河道掘削・樹木伐採

適切な維持管理の実施



### 河川区域での対策

#### 堤防の嵩上げ

地震・津波対策による避難時間の確保



### 集水域での対策

#### 砂防堰堤

土砂・流木等の流出を抑制



## 田んぼダムの取組、農業用ため池の活用（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

- 「田んぼダム」導入エリアで多面的機能支払交付金事業の活動組織を設立
- 「田んぼダム」導入の更なる促進のため、徳島大学及び京都大学との共同による効果検証等を継続的に実施

- 農業用ため池の活用の検討を実施

### 住民自らによる持続的な活動への体制強化・機運醸成

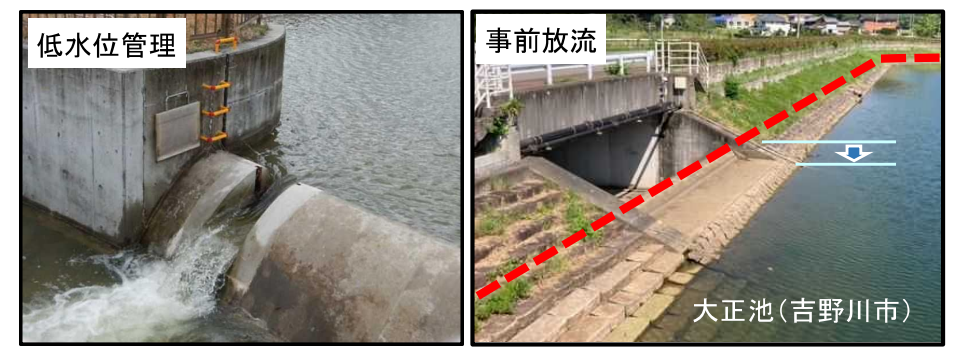
活動の対象となる資源

- 農用地
- 開水路
- 農道
- ため池
- 遊休農地
- 農村環境保全活動を実施する農用地
- 施設の長寿命化の対象施設

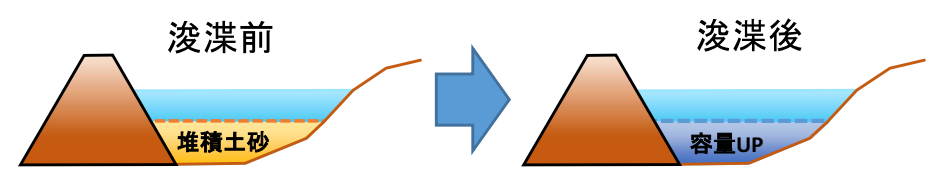
田んぼダムせき板

多面的機能支払交付金事業  
沼田地区保全会(美馬市美馬町)を設立

### 低水位管理・事前放流の推進



### 「農業用ため池しゅんせつ事業」の活用



しゅんせつ事業実施済ため池: 桶川池(三好市)

田んぼダムの取り組みませんか?

徳島大学、京都大学による効果検証、PRちらしの作成・配付  
取組意識に関するアンケート実施

- 「徳島ため池管理支援センター」の活動により、吉野川流域の市町及びため池管理者等へ、農業用ため池の事前放流等の取組を推進
- 「農業用ため池しゅんせつ事業」を活用し、農業用水及び洪水調節容量の確保に向けた取組を推進
- 補助事業を活用した監視カメラや水位計等の遠隔監視システムの導入による、監視体制強化に向けた取組の推進

森林の整備・保全（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

気候変動に伴う大雨の激化・頻発化により山地災害が激甚化する中、水源涵養機能や土砂流出防止機能等、森林が持つ公益的機能の適切な発揮に向けて森林整備や治山対策を実施。

治山対策

- 「治山ダムの設置」による溪流や山腹斜面の安定化、土砂や流木の流出抑制
- 「山腹工の実施」による森林再生や土砂流出抑制
- 「本数調整伐の実施」による、森林土壌の保全強化



（治山ダム工：美馬市梨子木地区）



（山腹工：神山町日浦地区）



（山腹工：三好市下名影地区）



（本数調整伐：三好市田ノ内地区）

令和7年度		令和6年度	
治山対策	治山ダム工	28基	27基
	山腹工	4.72ha	4.81ha
	本数調整伐	49ha	48ha

森林整備

- 「間伐の実施」により、下層植生が繁茂することで、森林の水源涵養機能や土壌保全機能を発揮
- 「再造林の実施」により、森林の多面的機能を持続的に発揮



（間伐により整備された森林：三好市）



（確実な更新を図る再造林：三好市）

令和7年度		令和6年度	
森林整備	間伐	361ha	367ha
	造林	65ha	110ha



下流域への

- 雨水の流出抑制
- 土砂・流木の流出抑制

# 吉野川水系流域治水プロジェクト

～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和7年度の取組  
森林整備センター  
徳島水源林整備事務所

## 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策(水源林造成事業による森林の整備・保全)

○水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の生長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

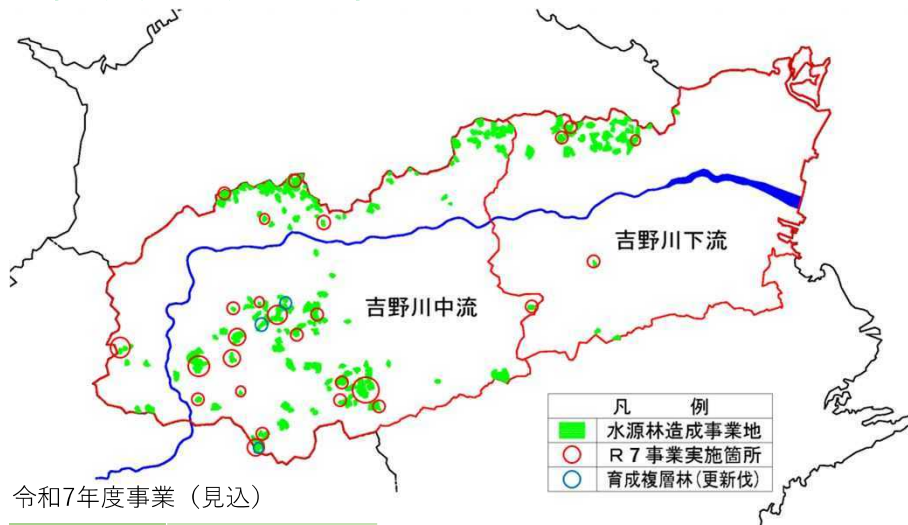
○水源林造成事業は、水源の涵養上重要な奥地水源地域の民有保安林のうち、土地所有者の自助努力等によって適正な森林整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。

### 水源林造成事業の流れ



○吉野川(中・下流)流域における水源林造成事業地は、約**280**箇所(森林面積 約**5.3**千ha)であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。令和7年度は**45**箇所で約**300**haの森林整備を実施する予定です。

### I 吉野川流域の水源林造成事業地



植栽事業	70ha
保育事業	230ha

### II 徳島水源林整備事務所管内の水源林整備状況



複層林(更新伐)(東みよし町)



植栽(三好市西祖谷山村)



保育間伐:列状(東みよし町)



除伐・枝払(阿波市市場町)

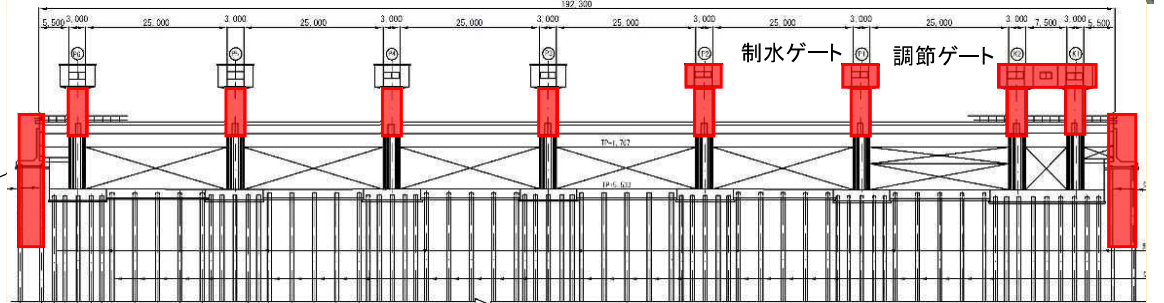
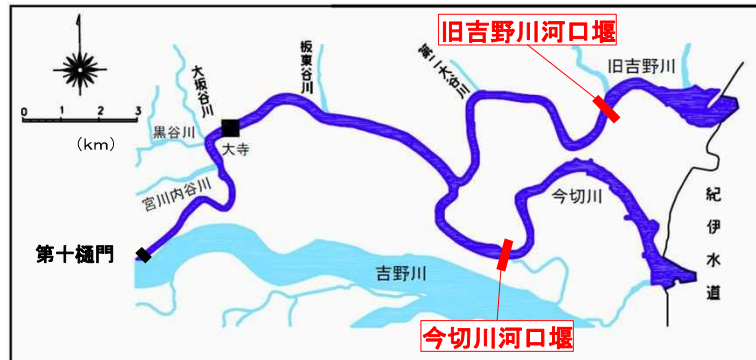
# 吉野川水系流域治水プロジェクト

～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和7年度の取組  
水資源機構吉野川下流総合管理所

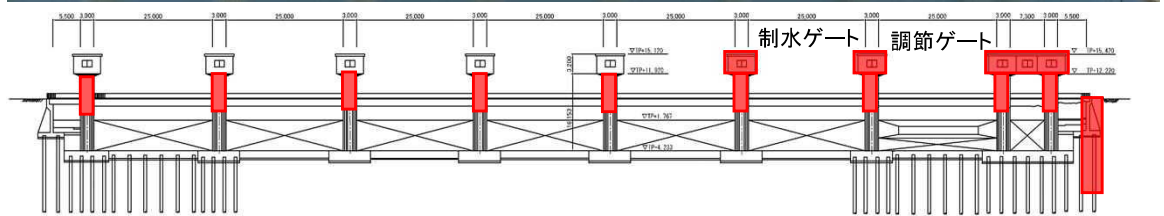
## 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（旧吉野川河口堰棟：大規模地震対策事業）

- 旧吉野川・今切川河口堰を改築し、地震時も治水・利水機能を維持するため、緊急性の高い施設を優先して令和5年度に事業着手。
- 令和7年9月より旧吉野川河口堰の門柱耐震対策工事を開始。



【左岸】

【右岸】



【左岸】

【右岸】

操作設備等改築

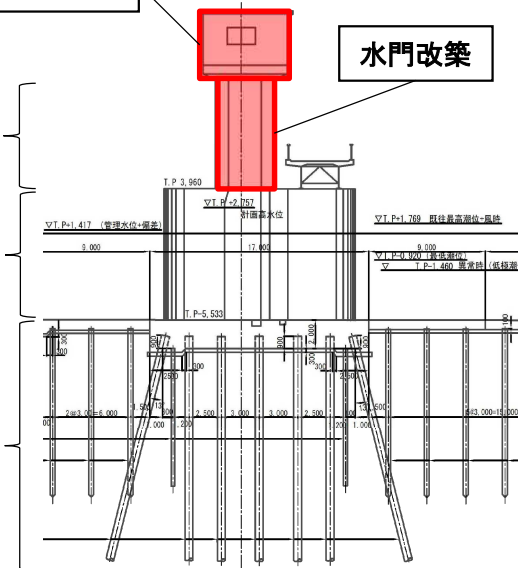
護岸改築

水門改築

門柱

堰柱

基礎



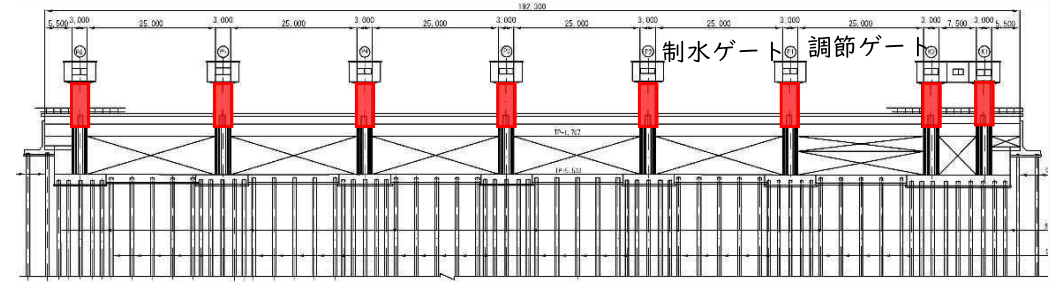
事業箇所



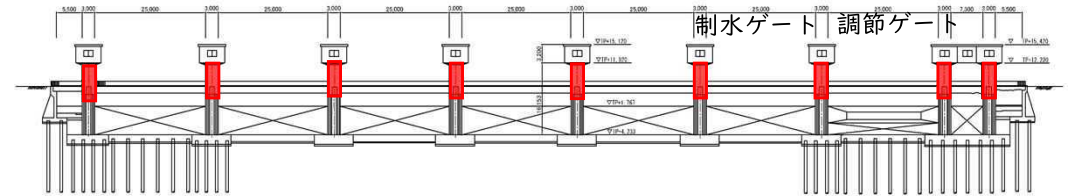
# 耐震対策工事の施工状況

## 耐震対策工事の概要図

### 旧吉野川河口堰



### 今切川河口堰



施工箇所 

### 【工事名】

旧吉野川河口堰外門柱耐震対策工事

### 【工期】

自：令和 7年 6月 3日

至：令和 11年 2月 11日

RMA工法  
(あと施工せん断補強筋挿入工)

PCM工法  
(ポリマーセメントモルタル吹付工)



削孔状況



鉄筋挿入状況



はつり状況



鉄筋組立状況

# 吉野川水系流域治水プロジェクト

～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和7年度 of 取組  
水資源機構吉野川上流総合管理所

## 早明浦ダム再生事業（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

- ダム治水機能向上を目的とした早明浦ダム再生事業は、令和5年度より本体工事に着手。
- 令和10年度に事業完了予定。【事業期間：平成30年度から令和10年度まで】



### 工 程 表

	年 度				
	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)
仮設工（仮締切・仮棧橋・仮設構台等）		上流仮締切・仮棧橋・仮設構台等設置～維持管理～撤去			
堤体工（堤体削孔）		●		●	
減勢工（増設）			基礎掘削・コンクリート打設		●
機械設備工（放流管・ゲート等）			放流管・ゲート製作・据付		●
電気・通信設備工				● 制御設備製作・据付 ●	

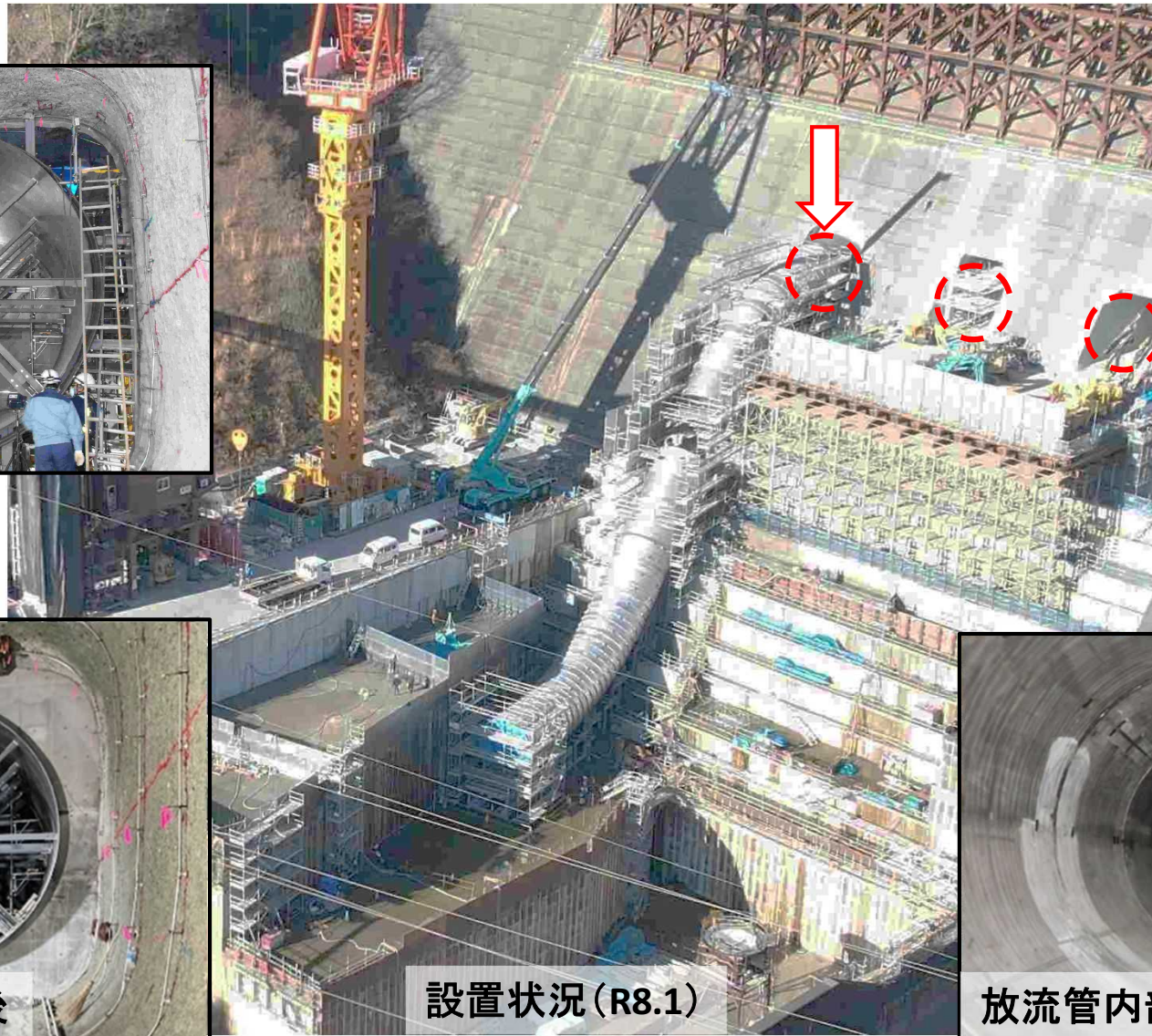
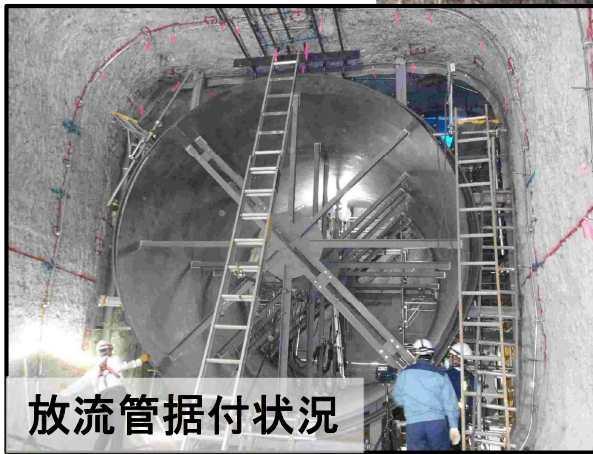


# 現在の状況（ダム下流側）

## 増設放流設備

令和7年5月～ 放流管据付開始

3号放流管を据付（直径4.8m 設置延長約119m）



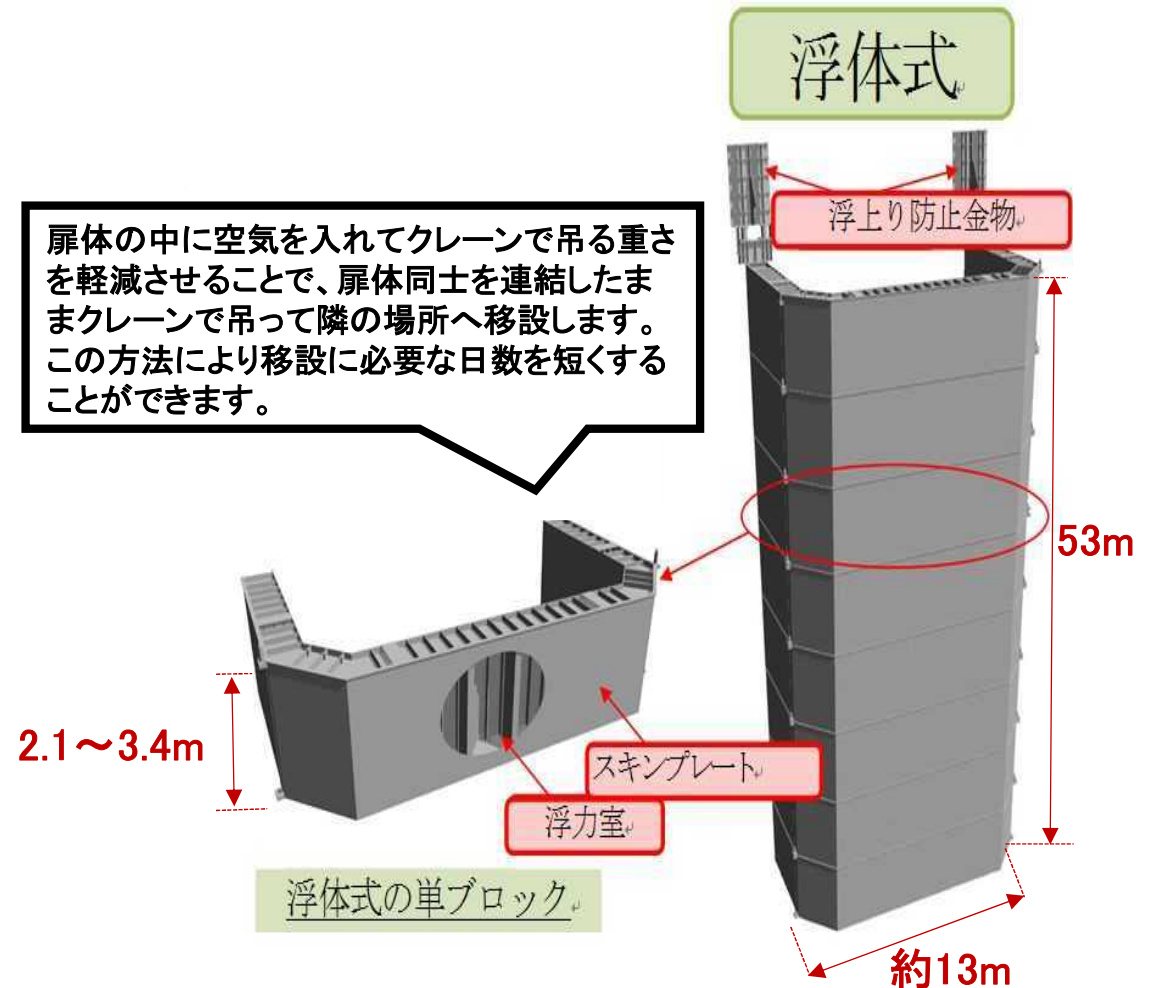
上流仮締切設備

令和8年1月 3号放流管から2号放流管へ移設完了

早明浦ダムでは、通年水道用水や工業用水等の利水を補給しており、ダムに水を貯めた状態で工事を行う必要があるため、上流仮締切設備を設置しています。



扉体の中に空気を入れてクレーンで吊る重さを軽減させることで、扉体同士を連結したままクレーンで吊って隣の場所へ移設します。この方法により移設に必要な日数を短くすることができます。

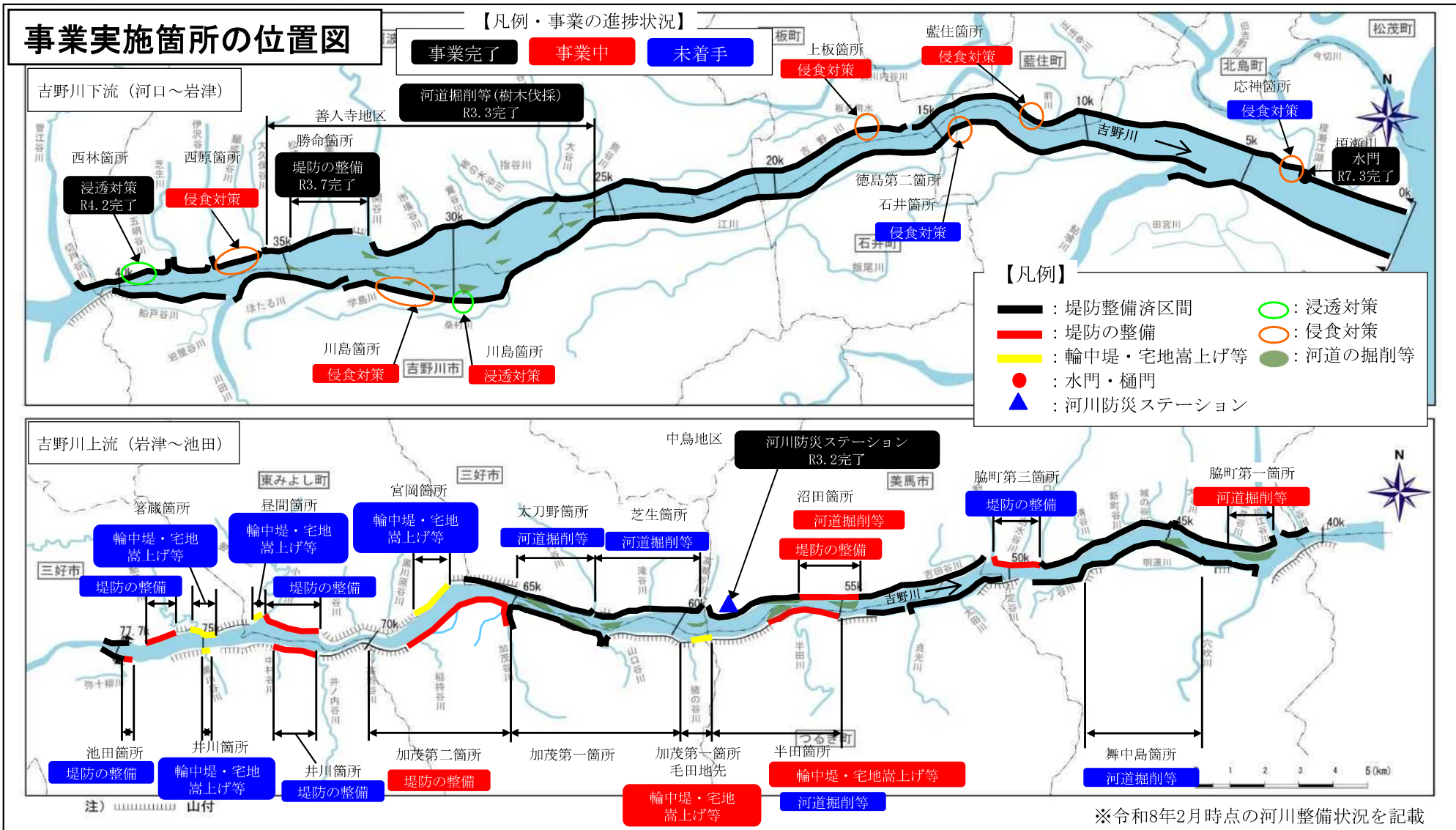


# 吉野川水系流域治水プロジェクト ～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和7年度の取組  
徳島河川国道事務所

## 堤防整備等（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

➤ 吉野川は戦後最大洪水を記録した平成16年10月台風23号による浸水被害を踏まえ堤防整備・河道掘削等を実施中。



## 砂防関係施設の整備（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

- 直轄砂防事業として砂防堰堤等を整備し、土砂及び流木の流下を抑制する。
- 直轄地すべり対策事業として抑制工等を実施し、地すべりによる被害の防止・軽減を図る。
- その他、治山部局と連携した流木対策の実施を見据え、流域の荒廃状況の調査結果を共有するとともに、砂防と治山が事業の重複を避け、両者の総合的効果を更に達成するため、砂防・治山連絡調整会議を実施するなど、連携を深めている。

### ①直轄砂防事業（例；砂防堰堤の新設・改良）



- 透過型の砂防堰堤は、平常時は堰堤がない状態と同じように、細粒の砂が砂防堰堤を通過する。
- 洪水時は、大きな岩や流木を含む土砂が堰堤に設置されたスリットで捕捉されることで、堰堤下流の土砂災害を防ぐ。

行川本川堰堤

R7. 1完成

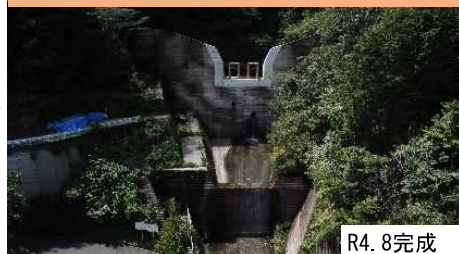
### 改良前（不透過型）



アカラギ谷堰堤

H21. 8完成

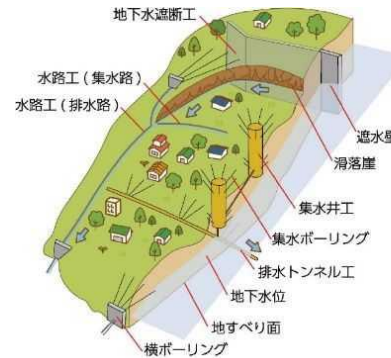
### 改良前（透過型）



R4. 8完成

- 既設の不透過型堰堤を切削して鋼製スリットを設置し、透過型堰堤への改良を実施している。
- 透過型堰堤に改良することにより、改良前よりも多くの土砂や流木を貯めるポケットを増やすことができる。

### ②直轄地すべり対策事業（例；地下水排除工）



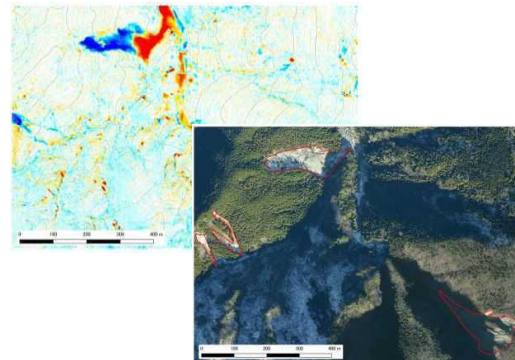
＜地下水排除工＞  
地すべり土塊内の地下水を地域外へ効率的に排水するために、集水井、横ボーリング、排水トンネル等を設置する。



八畝集水井

R8. 3完成

### ③治山部局との連携



＜荒廃状況調査結果の共有＞

- H30年7月豪雨による流域の荒廃状況を調査した結果を共有している。



＜砂防・治山連絡調整会議＞

- 会議にて治山部局と事業予定箇所を調整している。

# 吉野川水系流域治水プロジェクト ～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和7年度の取組  
いの町

## 森林整備による水源涵養機能の保全・向上（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

### 吉野川流域森林の現況

- 森林率97%、民有林面積8.3千ha（うち人工林6.1千ha）  
※参考（いの町全体）：森林率90%、民有林面積3.0万ha（うち人工林2.0万ha）
- 人工林面積の7割が51年生以上→資源充実に伴う主伐の増加

多様で健全な森林への誘導

森林の有する多面的機能の発揮に向け、再造林から主伐にいたる森林整備へのきめ細やかな支援の実施

### 「吉野川」水源の森整備事業

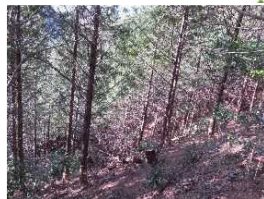
水源涵養機能の高度発揮に向けた間伐への支援。  
森林所有者費用負担なし。

これまで951haの間伐実施（H15～R6）

※参考：「仁淀川」山の手入れで元気モリモリ事業  
3,938haの間伐実施（H15～R6）



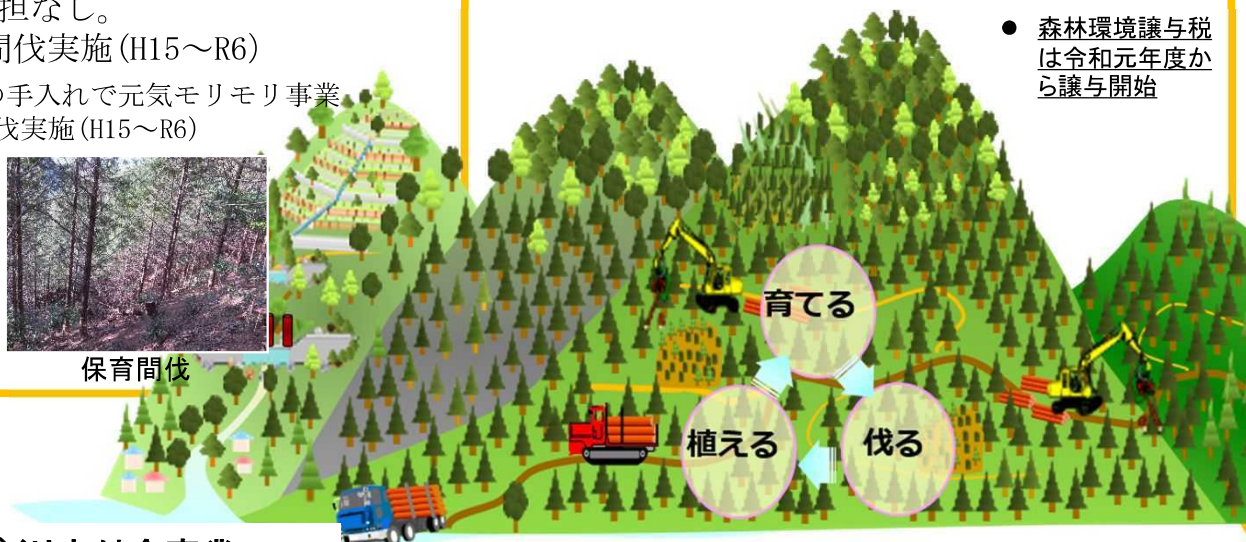
搬出間伐



保育間伐

### 町独自の施策の展開

- 森林環境譲与税は令和元年度から譲与開始



### 里山再生支援事業

里山林が有する水源涵養機能等の高度発揮に向け、主に放置竹林の整備を支援。

竹林整備10.92ha（R1～R6）

※森林環境譲与税活用事業

実施前



実施後



竹伐採後には広葉樹等を植栽

- 森林（もり）づくり交付金事業
- 森林資源循環利用促進事業

持続的な森林経営を通じ、森林の多面的機能の高度発揮を図るため、再造林、下刈り、獣害防除、主伐への支援。  
再造林260ha（H25～R6），下刈り683ha（H27～R6）



再造林

### 森林整備緊急対策支援事業

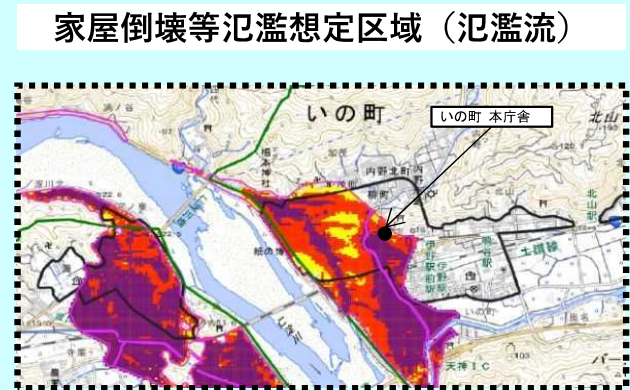
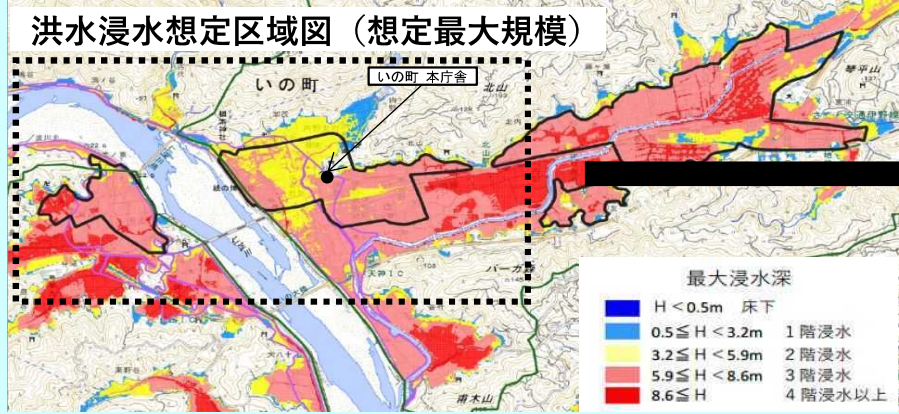
森林が有する公益的機能の早期回復に向け、主に間伐、溪畔林の整備を支援。

※森林環境譲与税活用事業

既存事業による取組と森林環境譲与税による取組の双方を推進することにより、一層の森林整備を進める。

## 立地適正化計画における居住誘導区域の設定（被害対象を減少させるための対策）

### ①家屋補強+垂直避難を前提とした居住誘導区域の設定



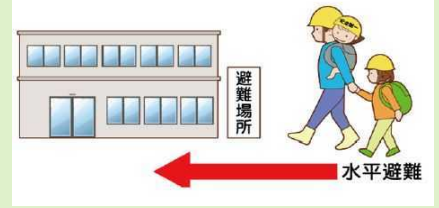
被害分類	被害の概要	評価	居住誘導区域
河岸侵食	川沿いの地盤とともに流される	家屋での対策は不可能	×
氾濫流	倒壊	柱を太くする、筋交いを入れる等により構造を強化することで対策可能	○
	滑動	氾濫水の浸入を防ぐとして2階を密閉してしまふことで浮力が働き流されてしまう	○
	転倒	基礎杭等を設置するなど、対策費用が高額であり非現実的であるため対策は不可能	×

プラス  
+



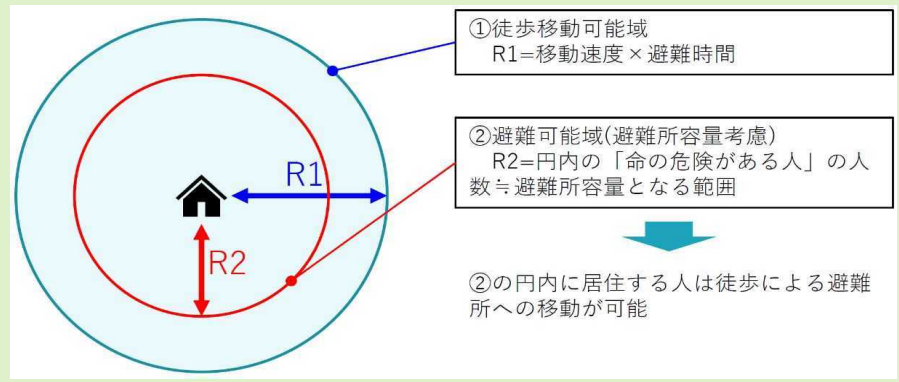
浸水深による垂直避難可否の考慮に加えて家屋倒壊等氾濫想定区域内の氾濫流の分類による既存建物の補強による対策の可否を検討

### ②水平避難を前提とした居住誘導区域の設定



下記の両者を満たす区域を「避難が容易な地区」として設定

- ① 指定緊急避難場所等まで徒歩移動が可能な区域
- ② 「命の危険がある人」の総数が指定緊急避難場所容量に収まる区域



浸水深以下の指定緊急避難場所等における収用可能人数や避難時間を考慮し、安全に逃げることが可能な範囲を想定

防災意識向上・避難場所の確保・水防協力団体の指定（安全に逃げる・被害の軽減のための対策）

想定浸水深調査

伊野地区自主防災会連合会が主体  
地区毎の**想定浸水深を調査**



地区毎のオリジナルマップを作成・配布

・**想定浸水深**が分かる**マップ**を作成、配布



住民研修会、避難訓練の開催

・**住民研修会を開催**し、想定最大規模洪水に対する**浸水リスクの周知**や**防災意識の向上**を図る  
・社会福祉施設等と連携し、**避難訓練を実施**



緊急避難場所の確保

➤ **公共、民間施設と協定締結**



➤ **高知市と広域避難協定**



水防協力団体の指定

➤ **水防協力団体を1団体指定**



※いの町消防団員26名が参加

南海巨大津波避難一斉訓練の実施（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

- 11月5日の「世界津波の日」に合わせ、住民や企業等を対象とした。「南海トラフ巨大地震津波避難訓練」を実施。
- 徳島市において震度7の長い揺れの後、大津波が襲来しているとの想定で、Jアラートによる緊急地震速報に連動したシェイクアウト、大津波警報を想定した避難情報の発令、南海トラフ巨大地震を想定した津波避難の訓練を実施。
- サテライト会場である、沿岸部の沖洲小学校、津田小学校においては、机の下にもぐるなどの安全確保行動の後、上階に移動する津波避難訓練が行われ、児童らが避難方法の再確認を実施。



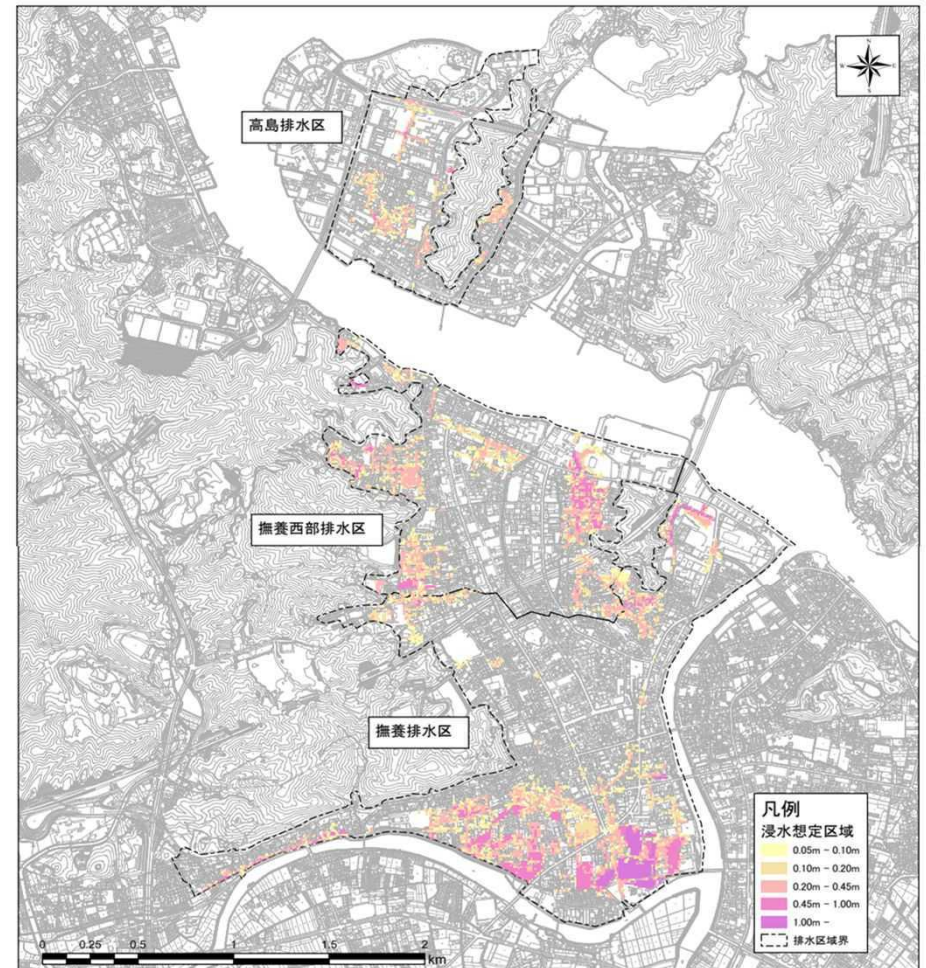
# 吉野川水系流域治水プロジェクト ～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和7年度の取組  
鳴門市

## 「雨水出水浸水想定区域図」の公表（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

- 堤防整備の進展に伴い、雨水排水不良による、内水被害が相対的に顕著になる現状を踏まえ、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による雨水出水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示した「雨水出水浸水想定区域図」を公表した。
- この図面は、令和6年度末時点の下水道の整備状況を勘案して、想定しうる最大規模の降雨（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/1000の降雨：1時間雨量160mm）に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したもの。
- （このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水（河川の破堤または越水）による外水氾濫等を考慮していない）
- 水防法の規定に基づき作成し、その区域図を公表している。

雨水出水浸水想定区域図（想定最大規模降雨）



1. 説明文  
 (1) この図は、鳴門市流域関連公共下水道の撫養排水区・撫養西部排水区・高島排水区において、水防法の規定に基づく想定最大規模降雨が発生した場合に浸水が想定される範囲やその深さを表した図面です。  
 (2) この内水浸水想定区域は、2025年3月時点の排水路等の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨によって想定される浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。  
 (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、市管理の水路・管路等からの越水による氾濫は考慮していますが、河川堤防の決壊や、撫養川・新池川の水害は考慮していません。また、全ての水路を検討し組み込んでおりません。そのため、この内水浸水想定区域に表示されていない区域においても、浸水が発生する場合があります。想定される水深が実際と異なる場合があります。  
 (4) この雨水出水浸水想定区域図は撫養排水区、撫養西部排水区、高島排水区を対象としているため、排水区の外側については、内水浸水想定の対象外となっています。

2. 基本事項等  
 (1) 作成主体 : 鳴門市  
 (2) 指定年月日 : 令和7年3月  
 (3) 指定の根拠法令 : 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項  
 (4) 指定の前提となる降雨 : 想定最大規模降雨(1時間雨量160mm)  
 (5) 浸水想定手法 : 浸水シミュレーション手法(降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析を一通で実施)  
 (6) 境界条件 : 河川水位は堤防高、ポンプ場は運転継続、樋門は閉鎖  
 (7) その他計算条件等 : 対象区域を10m×10m(100m<sup>2</sup>)のメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算

3. 問合せ先  
 鳴門市 都市建設部 下水道課

吉野川の治水及び利水の変遷における講座の開催（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

- 令和7年11月6日（木）、徳島河川国道事務所の安永事務所長を講師に迎え、鳴門市職員、鳴門市自主防災会会長及び鳴門市地域防災リーダー（防災士）の方を対象に「吉野川の治水及び利水の変遷における講座」を開催。
- 講座では、江戸時代以降の吉野川における治水の取組や、度重なる水害を契機とした河川改修の歴史をはじめ、多目的ダム整備や第十堰設置など、時代ごとの治水及び利水の変遷についてお話いただき、またこれまでの取組が現在の地域の安心・安全な暮らしを支えていることに触れつつ、近年の気候変動を踏まえた流域治水の考え方についてもご紹介いただいた。
- 当日は約80名の方に参加いただき、参加者からは気候変動の状況や流域治水の取組について質疑がある等、災害リスクを自分事として捉える意識が高まり、全体の防災意識の向上に寄与した。



徳島河川国道事務所 安永事務所長による講座の様子

# 吉野川水系流域治水プロジェクト ～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和7年度の取組  
石井町

## SNSを活用した水害伝承の取組（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

- 石井町長がMCを務める番組「小林町長のまちを歩けば」（石井CATV）において、吉野川の洪水遺産を巡り、それぞれの場所にまつわる歴史的な背景などを解説。
- 動画はYouTubeでも公開され、SNSを活用した水害伝承の取組を実施。



番組冒頭の様子



別宮川三郎による洪水遺産説明の様子

### 「小林町長のまちを歩けば」

- 番組では番組では「吉野川と石井町」というテーマで、石井町に残る洪水遺跡を巡り、それぞれの場所にまつわる歴史的な背景などを2回に分けて解説。
- 放送は終了していますが、YouTubeでバックナンバーを公開して、水害伝承の取組を実施。

YouTube バックナンバー

第1弾



第2弾



## 掲示板を活用した水害伝承の取組（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

- 北島町では、大正元年の大洪水で町内全域で大被害を受けました。
- そこで、当時の状況を感じていただくために、北島町役場の南側駐車場及び町内各小学校に「海拔柱」を設置し、町内5箇所に「海拔表示板」を表示して水害伝承の取組を実施。
- 掲示板には大正洪水での浸水深を海拔高さで表現することで、洪水のリスクが見える化する工夫を実施。



役場前の海拔柱



中村地区の海拔柱

## 大正元年の大洪水 大正元年9月21日～22日

徳島県南岸から阪神に上陸した台風は多くの死者を出すなど、全国的な災害となるほどで、徳島では9月21日昼から翌日早朝までに600ミリを超える雨量のところもあり、沿岸部では高潮の被害があった。

- 1) 県内死者数：81人（うち、板野郡27人）
- 2) 床下・床上浸水：43,067棟
- 3) 徳島市で7.5メートル、板野郡では水田面上3メートル
- 4) 北島町：町を囲む2つの川の各所で堤防が決壊し、場所によっては3メートルを超える浸水

- ✓ 北島町ではHPでも大正元年洪水に関するサイトを作成し、住民に広く周知。



# 吉野川水系流域治水プロジェクト ～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和7年度の実組  
板野町

防災フェスタを通じた防災意識向上の取組（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

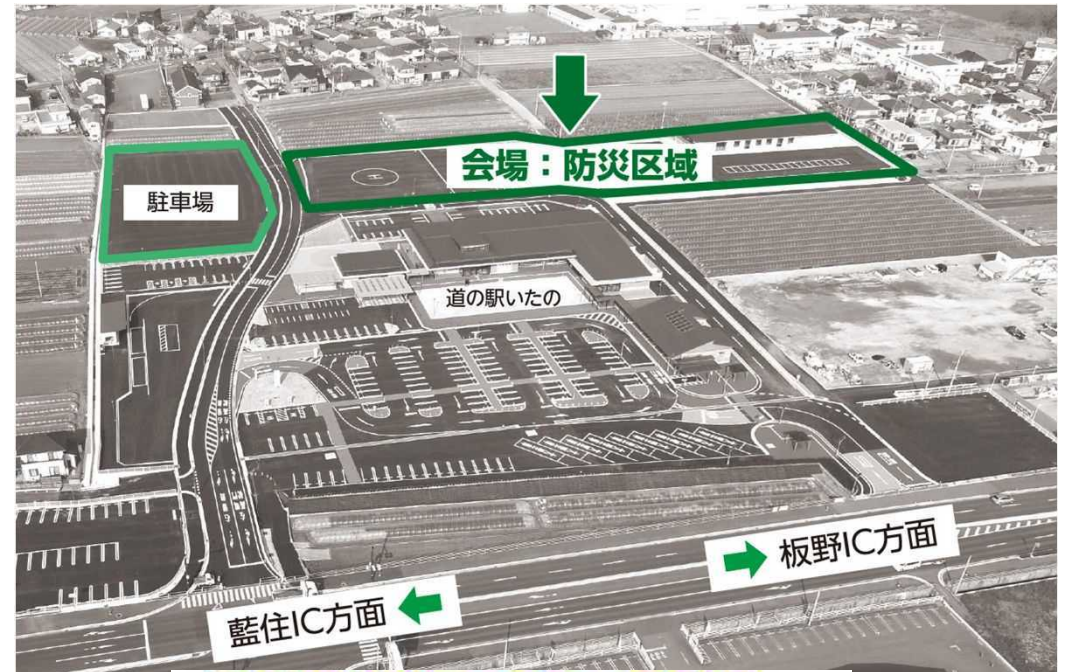
- ▶ 防災道の駅としての役割と道の駅本来の「休憩・情報発信・地域連携機能」としての魅力をかき、住民の防災意識の向上を図るべく、官民連携等による防災イベントを開催。

2026年  
2月14日(土)  
10:00~14:00

## 板野町 防災 フェスタ

会場：道の駅いたの(板野町川端字新し崎 18-1)  
(防災区域内)

雨天決行 参加無料



### 板野町防災フェスタ 会場図

飲食	① 子ども食堂(限定100食) おぜんざい配布	② 飲食スペース		
展示 見学	① 照明車	② 排水ポンプ車	③ 移動基地局車	④ 高所作業車
	① 四国地方整備局 パネル展示	② ガチャガチャコーナー (体験者特典)先着300人	③ 無線通信機器 展示機	④ 避難所 支援物品
	④ 公衆無線Wi-Fi 災害対策事例紹介(動画) 道の駅での利用内容説明	⑤ 防災ロード マップ	⑥ 災害時伝言ダイヤル 171	⑦ 水素燃料 ステーション
	⑦ 電気・エネルギー 展示	⑧ 防災ロード マップ	⑨ 防災ステーション 備蓄倉庫	⑩ 水素燃料 ステーション
	⑧ 衛星電話通話	⑨ AR災害対策クエスト	⑩ 災害用伝言板	
	⑨ アマチュア無線体験	⑩ しゃかしゃかライト工作		
	⑩ 移動式 水素ステーション	⑩ 電気自動車 用充電器	⑩ 化糞室	⑩ 自動体外式 除細動器
	⑩ 教壇所	⑩ ベビー ケアルーム	⑩ 足湯 ドッグ ラン	

◎AR防災体験



◎はたらく車の展示

排水ポンプ車・照明車・移動基地局車 (子ども食堂) 限定100食

◎いたのみらい食堂

おぜんざいも配布

◎衛星電話・災害用伝言板体験



◎ガチャガチャコーナー  
(体験者特典 先着300人)



◎しゃかしゃかライト  
をつくってみよう!  
(先着50人)



◎衛星通信フリーWi-Fi 提供

◎水素シャトルステーションいたの見学



◎災害時伝言ダイヤル 171



◎アマチュア無線体験



◎防災ロードマップ説明

11:00~、13:00~

※すべて予約制です。

ため池の水位管理電子化による事前放流省人化（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

- 別埜池（べっそいけ）は、阿波町井出口・山王地区にあり、貯水量が16万4400トンと徳島県内で2番目に多い貯水量を持つ農業用ため池です。台風や豪雨時には、上流からの水の流入も多く、地元土地改良区の役員が現地で水位を記録し、水の管理を行っています。
- このたび別埜池を管理する阿波東部土地改良区では、ため池にIoTを活用した水位計を設置する実証実験を経て、本格的に運用を開始しています。この水位計は、水面の高さを衛星測位により測定し、その結果をパソコン等で確認できる仕組みとなっています。このことにより、ため池の水位データをリモートで管理し、荒天時にも現場へ出向くことなくため池の状態を把握することが可能となり、水位管理業務の効率化が期待されています。
- また、一定期間水位データを蓄積し確認することにより、降雨に伴う水位変化をより詳細に把握することができ、防災面でのリスク低減と管理効率化が期待されます。



測定機器



設置状況

防災教育の推進（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

- 町立中学校（2校）においてハザードマップを活用した水害リスク等の確認や徳島県・東みよし町消防団と連携したロープワーク体験、マイタイムラインの作成案内や指定避難所及び指定緊急避難場所の周知を実施。
- 若年世代への防災教育や防災関係団体との連携などにより流域等での被害軽減の取組を推進。

防災教育の推進

昨年度の取り組みに加え、三好ジオパーク推進室と連携し、吉野川が育んだ地形の観点から小中学校の防災教育を実施。下記以外で昼間小学校で実施。

○三加茂中学校

- ・ハザードマップ学習による水害リスク等の確認



- ・ロープワーク体験による消防団（水防団）の認知



○三好中学校

- ・マイタイムライン等の各種防災情報の周知
- ・ジオパーク学習と合わせて実施し、過去の水害や災害から水防教育へ連携した



排水ポンプ訓練の充実に向けた取組（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

- 管内の河川氾濫に機動的に対処するため、毎年、国が主催する排水ポンプ車操作訓練に参加している。
- また、本市主催の訓練では、国へ講師派遣を依頼して、ホースの配置やポンプの取扱い方法などについて指導を受けながら実践し、排水ポンプの運用全般にわたってレベルアップを図った。

国主催合同訓練の様子  
(令和7年6月12日)



本市主催訓練の様子(令和7年10月31日)

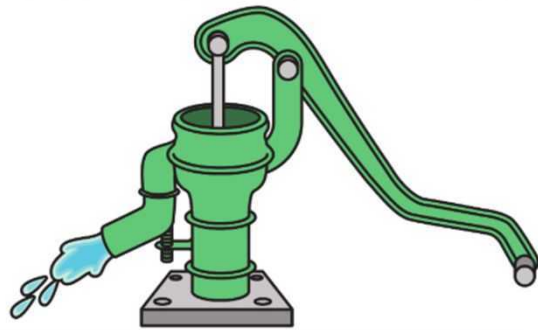


災害時協力井戸の登録（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

- 美馬市では、洪水等の大規模災害による長期間の「断水」に備えて、市民の協力を得て『災害時協力井戸』を登録しています。
- 災害時に生活用水（飲料水以外のトイレ・掃除・洗濯等に使用する水）として利用することができます。

# 災害時協力井戸

災害時に井戸水が利用できます  
 Well water is available in the event of a disaster



⇒美馬市内において計**16箇所**の井戸で登録が完了

地域材を活用した「避難所用木製ベッド」製作（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

- 全国で自然災害が頻発するなか、避難所の生活環境の改善が重要な課題となっている。
- 三好市では豊富な森林資源を有する地域特性を活かし、木製ベッド「My SUGI BED」を開発。

My SUGI BED の特長

組み立て簡単  
 道具不要



脚がズレずに  
 しっかり固定



切り離してベンチ  
 としても使える



積み重ね可能で  
 省スペース



角が丸く手触り  
 なめらか



空間を広く活用



ベッドの必要性



血栓・腰痛・体力低下  
 ウイルスへの対策

高齢者・妊婦・怪我人の  
 負担軽減

なぜ杉なのか

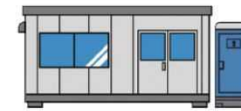
調湿性・断熱性があり  
 冷えにくい

木の香りによる  
 リラックス効果

利用シーン



避難所



仮設住宅



一般家庭



各種イベント

SIZE  
 サイズ

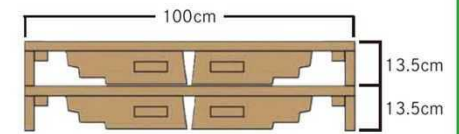
ベッド使用時

- 高さ 38cm
- 幅 85cm
- 長さ 200cm

\* 耐荷重 200kg

収納時

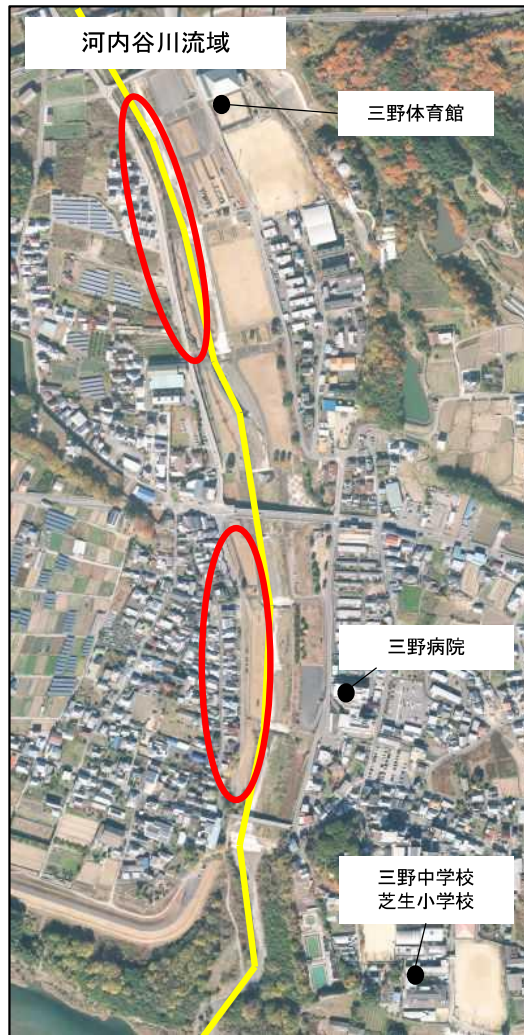
- 高さ 27cm
- 幅 85cm
- 長さ 100cm



重量 30kg/セット (15kg/台)

河川除草作業の取組（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

- 「河内谷川水管理行動計画」の一環として、水防団として活動する三野町消防団や地元団体により一斉除草作業が行われ、河川周辺の景観改善を図った。



活動状況の様子



# 吉野川水系流域治水プロジェクト

## ～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和7年度の取組  
大川村

### 全村参加型・実践型総合防災訓練の取組について（被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策）

- 大川村は地形上、災害時は道路寸断や集落孤立等の被害が想定される。
- 外部支援に依存せず、地域内で避難できる体制を確立することを目的に、全村参加型・実践型総合防災訓練を毎年実施しています。

## 大川村総合防災訓練

**日時** 令和7年6月12日(木) 9:05～15:30 ※整列 9:05  
**場所** 大川小中学校 村内全域  
**目的** この訓練は、大川村地域防災計画に基づき、防災関係機関と自主防災組織(村民)が、一体となって、総合的かつ実践的な訓練を実施します。



大川村防災訓練日程表 ※訓練内容等変更する場合があります。

訓練内容	場所	時間	主な参加協力団体
総合開会式	大川小中学校ピロティ	9:10～ 9:15	全機関
緊急地震速報対応訓練	村内全域	9:20～ 9:25	全機関
避難訓練	大川小中学校他	9:20～ 9:35	学校 保育園 警察
救援物資受け渡し訓練及び孤立者救出訓練	村内	9:30～ 12:00	消防団、自衛隊 等
土のうづくり訓練	総合福祉センター前広場	9:30～ 11:00	消防団、自衛隊、村内外建設事業者、住民等
初期消火訓練	大川小中学校	9:30～ 11:00	福北消防 等
煙体験	大川小中学校	9:30～ 11:00	福北消防、学校 等
起震車体験	大川小中学校	9:30～ 13:00	学校 等
A E D講習	大川小中学校小体育館	10:20～ 11:30	福北消防、学校 等
災害時炊き出し訓練	大川小中学校ピロティ	10:00～ 12:00	自衛隊、日赤奉仕団 等
小型ポンプを使用した消火訓練	大川小中学校ピロティ	11:15～ 12:00	消防団 等
第1部閉会式	大川小中学校ピロティ	12:00～ 12:10	全機関
昼食	大川小中学校体育館	12:10～ 13:00	全機関
負傷者救出訓練	村内	13:00～ 15:00	消防団、福北消防 等
負傷者救出訓練	村内	13:00～ 15:00	消防団、自衛隊 等
第2部閉会式	大川小中学校ピロティ	15:15～ 15:30	全機関

#### 地震の揺れから身を守ろう！

##### 1 揺れによる被害

南海トラフ地震のような大地震の場合、県内全域で同時に大きな被害が発生することが予想されています。このため、すべての地域での消防機関などによる避難誘導や人命の救助などは困難です。まずは「自分の命は自分で守る」ということが大事です。



##### 2 揺れから身を守るポイント

###### (1) 地震の発生を早く知る

地震を素早くキャッチし、強い揺れが始まることを数秒から数十秒前にお知らせする緊急地震速報は、ふるさと放送やテレビ、ラジオ、携帯電話などを通じて受信できます。携帯電話については、設定が必要な場合があります。お使いの電話会社に確認し、緊急地震速報を受信できるようにしておきましょう。

###### (2) 大事な頭をまず守る

落下物に注意し、大事な頭を守りましょう。

###### (3) 危険な場所から離れる

倒れる恐れのあるブロック塀や、土砂崩れの恐れのある所から離れましょう。



村民の皆様の参加をお願いします

### 土のうづくり訓練



### 起震車体験



### 煙体験



### 小型ポンプを使用した消火訓練

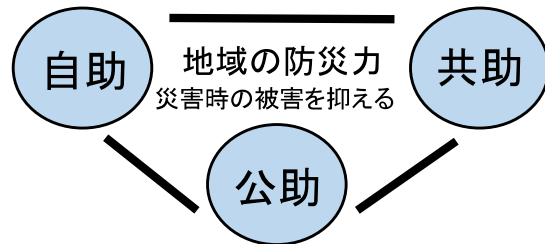


## 自主防災組織の強化（被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策）

- 令和6年度に土佐町地域防災アドバイザーを委嘱
- 自主防災組織の再編

令和6年度に町内に在住する防災知識のある2名の方を土佐町地域防災アドバイザーとして委嘱しました。

地域防災アドバイザーを中心に、停滞気味であった自主防災活動を見直すため、年1回だった自主防災組織連絡協議会を月に1回開催し、地区防災計画の策定を目指して活動しています。また、そのなかで自主防災組織の再編も行っており、各地区の地域拠点（集落活動センターや小学校区）を設けて、地区の災害情報を地域拠点でとりまとめ災害対策本部に報告するという仕組みづくりにも取り組んでいます。



地域防災アドバイザーを設置したことにより、各地区や各団体から防災学習の依頼がくるなど、治水や地震等に対する防災について意識が向上しました。

また、各自主防災組織が避難訓練や仮設トイレ組み立て訓練を夜間を実施するなど、自主防災活動も活発化しています。

さらに、令和8年2月22日の土佐町統一防災訓練においては、自主防災組織と連携した避難訓練と情報伝達訓練も行うこととしています。

大規模災害発生時には国、都道府県、市町村等の行政、消防機関による救助・救援等（公助）には限界があります。

いざという時に、地域住民の一人ひとりが、組織的に初期消火や情報伝達、救出・救助、避難運営等の自主的な防災活動を行うことが重要となっていきます。



# 吉野川水系流域治水プロジェクト ～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和7年度の取組  
徳島県 県土整備部

## 防災教育及び水害リスク情報の充実に向けた取組（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

➤ 「水害リスク情報」のさらなる充実、住民目線に立った避難行動につながる「情報発信の強化」や防災エキスパートから分かりやすく学ぶ「防災出前講座」の実施により、「逃げ遅れゼロ」の実現を目指す。

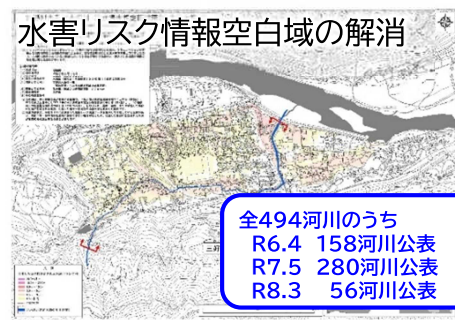
### <防災出前講座の実施>

- ・小学生を対象に、社会インフラの役割や防災の大切さを学び、ものづくりへの興味を育むための**現場見学会**を開催
- ・避難の実行性を高めるため、**VR動画**等を活用した水災害に関する基礎知識の学習や**タイムライン**の作成を支援



### <住民への周知・啓発>

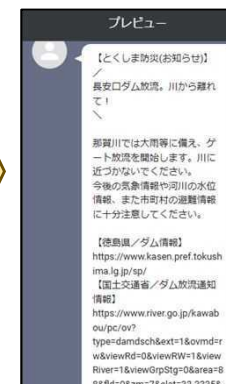
- ・住民へ広く周知・啓発するため、台風シーズンを前に商業施設での**パネル展**の開催や**洪水浸水想定区域図**の公表



### <住民目線に立った情報発信>

- ・池田ダム及び宮川内ダムの放流開始の通知  
徳島県公式LINEによる**PUSH型自動配信**

河川名	ダム名	放流開始時刻	放流量	備考
池田川	池田ダム	10:00	10000	
宮川	宮川内ダム	10:00	5000	



# 吉野川水系流域治水プロジェクト

## ～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和7年度の取組  
徳島地方気象台

### 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策（防災気象情報の改善）

#### ①常時接続を用いた市町村への解説

気象台が県内で広く防災対応が必要な気象状況を予測し、自治体の支援が必要と判断した場合、常時接続で気象解説を行い、リアルタイムの防災気象情報を提供する。

#### ②アンケートフォームによる振り返りの実施

アンケートを用いて災害の振り返りを実施し、災害発生時の対応を自治体と共同で振り返る。この振り返りを通じて、防災気象情報や自治体支援の改善を図る。

#### ③各種防災訓練やイベント等への参加

### 警戒レベル相当情報の体系整理

#### ◎シンプルでわかりやすい 情報体系・名称に整理

##### 【洪水】

氾濫による社会的な影響が大きい洪水予報河川の外水氾濫を対象とし、河川ごとの情報とする。

これ以外の河川の外水氾濫については、内水氾濫と併せて市町村ごとに発表する【大雨】に関する情報とする。

これにあたり、警戒レベル4相当の【大雨】に関する情報の対象となる河川、および氾濫の対象地域の選定を各自治体担当にお願いし、取りまとめていた。

		洪水に関する情報 「洪水危険度」	大雨浸水に関する情報 「大雨危険度」※1	土砂災害に関する情報 「土砂災害危険度」	高潮に関する情報 「高潮危険度」
発表単位		河川ごと	基本的に市町村ごと	基本的に市町村ごと	沿岸ごと又は市町村ごと※2
警戒レベル相当情報※4	5相当	レベル5 氾濫特別警報※3	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報※3
	4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
	3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
	2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報

## 防災気象情報の改善（被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策）

### ①常時接続を用いた市町村への解説

継続

気象台が県内で広く防災対応が必要な気象状況を予測し、自治体の支援が必要と判断した場合、常時接続で気象解説を行い、リアルタイムの防災気象情報を提供する。

### ②アンケートフォームによる振り返りの実施

継続

アンケートを用いて災害の振り返りを実施し、災害発生時の対応を自治体と共同で振り返る。この振り返りを通じて、防災気象情報や自治体支援の改善を図る。

### ③各種防災訓練やイベント等への参加

継続

### ④線状降水帯直前予測（2～3時間前予測）

運用開始予定

これまでの「線状降水帯発生」（30分前～現在）、「線状降水帯半日前予測」に加え、「線状降水帯直前予測」を発生の2～3時間前を目標に、線状降水帯による大雨発生の確度が高まったことをお知らせする。

- 「防災気象情報に関する検討会」の最終とりまとめ（令和6年6月）を踏まえた新しい防災気象情報の運用を令和8年出水期から開始する予定です。
- 新しい防災気象情報では、住民の避難行動に対応した5段階の警戒レベルに整合させ、災害発生の危険度の高まりに応じて各情報を発表します。
- この方針のもとで、情報名称の変更、警戒レベル4相当となる危険警報の新設、洪水関係の情報変更、気象防災速報の新設など、現行の大雨警報・注意報などの気象庁が発表する防災気象情報が大きく変わります。

防災気象情報の改善（被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策）

- 洪水に関する情報は、洪水予報河川のみを対象とした河川ごとの情報とし、これを一般向けの警報扱いとする。これまでの気象台による市町村ごとの洪水警報・注意報の発表は行わない。
- 水位周知河川の水位の情報は、当面これまで通りの運用とする。  
 （水位の実況情報に洪水危険度を付して情報発表することは当面は行わない。）
- 浸水害を対象とした大雨特別警報・警報・注意報は、大雨に関する情報として警戒レベル毎に整理し、警戒レベル相当情報として位置づけ。洪水予報河川以外の河川についても大雨に関する情報の中で一緒に扱う。
- この新しい防災気象情報の運用を令和8年出水期から開始する予定。

洪水等に関する情報の主な変更点

洪水に関する情報				大雨に関する情報
分類	洪水予報河川	水位周知河川	左記以外の河川も含む 洪水警報等	
河川数	3河川(国2、県1)	当面は、大雨に関する 情報で扱う	大雨に関する情報 で扱う	—
発表主体	河川事務所または 県と気象台			気象台
発表単位	河川ごと			市町村ごと
対象とする 主な現象	外水氾濫			内水氾濫及び 洪水予報河川以外の外水氾濫
発表指標	水位（実測・予測）			表面雨量指数・流域雨量指数 （解析・予測）
情報 名称	5	レベル5 氾濫特別警報	河川事務所・県による 水位情報の発表は継続 する	レベル5 大雨特別警報
	4	レベル4 氾濫危険警報	〔 洪水予報河川への 移行を促進 〕	レベル4 大雨危険警報
	3	レベル3 氾濫警報		レベル3 大雨警報
	2	レベル2 氾濫注意報		レベル2 大雨注意報
	1	早期注意情報		早期注意情報

# 吉野川水系流域治水プロジェクト

## ～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和7年度の取組  
吉野川ダム統合管理事務所

### 市町村との防災情報に関する情報共有の取組（被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策）

#### ➤ 出水前にダム流域の自治体と「防災情報に関する意見交換会」を開催。

○洪水及び地震災害時における連携強化、被害の防止、軽減を図るため、吉野川中・上流域の防災担当者による意見交換会を実施。

- ・出水期を前にダムの予測手法とダム管理及びダムからの情報提供についての勉強会を開催。
- ・対面とWebで規約の内容確認、勉強会資料を準備し「洪水予測」や「緊急放流」など、洪水被害を回避・軽減するための業務を説明。
- ・ダム管理と洪水の予測に関する率直な疑問点、出水対応の実態状況等を各自治体と意見交換し、構成員の連携を深めた。

○実施日：令和7年5月19日（月） 吉野川ダム統合管理所大会議室（対面、Web併用）

○参加者：【吉野川中流域】美馬市、三好市、東みよし町、つるぎ町、  
【吉野川上流域】本山町、大豊町、土佐町、大川村  
【銅山川流域】 四国中央市  
【事務局】 国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所、水資源機構 吉野川上流総合管理所

#### ■「防災情報に関する意見交換会」の概要

開催時期	議題
【出水期前】 4月中旬～5月中旬	ダムの予測手法とダム管理及びダムからの情報提供についての勉強会
【出水・台風接近時】 以下のダム流出予測により、洪水が予測される場合 （目安） 早明浦ダム放流量 2,000m <sup>3</sup> /s 新宮ダム放流量 1,200m <sup>3</sup> /s 池田ダム放流量 5,000m <sup>3</sup> /s	ダム流出予測データ等からの情報提供、自治体の対応状況等について （情報提供範囲） ・吉野川上流域：本山町・大豊町・土佐町・大川村 ・銅山川流域：三好市・四国中央市 ・吉野川中流域：美馬市・三好市・東みよし町・つるぎ町
【地震発生時】 管内で震度5強以上を観測し、被害が予測される場合	各機関の被災状況、支援に関する情報交換
【南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）発表時】	各機関の対応状況について



開催状況

# 吉野川水系流域治水プロジェクト ～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和7年度の取組  
国土地理院四国地方測量部

## ハザードマップの改良（被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策）

### ➤ 「重ねるハザードマップ」のデータ更新。

#### 指定緊急避難場所データを更新

市町	公開日	最終更新日	市町	公開日	最終更新日
徳島市	2017/2/22	2025/12/15	松茂町	2017/2/22	2025/5/1
鳴門市	2017/2/22	2025/11/26	北島町	2017/2/22	2025/7/17
吉野川市	2017/2/22	2026/1/6	藍住町	2017/2/22	2025/4/28
阿波市	2017/2/22	2025/3/31	板野町	2017/2/22	2026/1/6
美馬市	2017/2/22	2025/12/22	上板町	2017/2/22	2025/4/23
三好市	2017/2/22	2025/5/24	つるぎ町	2017/3/14	2025/4/11
石井町	2017/2/22	2025/5/9	東みよし町	2017/12/25	2025/1/23

重ねるハザードマップ ～自由にリスク情報を調べる～

例：茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院

選択中の情報

- 災害種別で選択
  - 洪水 (徳島県大規模)
  - 土砂災害 (徳島県大規模)
  - 高潮 (徳島県大規模)
  - 津波 (徳島県大規模)
  - 道路防災情報 (徳島県大規模)
  - 地形分類 (徳島県大規模)
- 掲載データに関する留意事項
  - すべての情報から選択
- 表示
  - 指定緊急避難場所
  - 洪水
  - 災害リスク情報>洪水浸水想定区域
  - 洪水浸水想定区域 (想定最大規模)
  - 災害リスク情報>ため池決壊による浸水想定区域
  - 災害リスク情報>洪水浸水想定区域
  - 家屋倒壊等氾濫想定

サイトの新機能として、地点の災害リスク情報がわかりやすく表示できるようになりました。また、地点の周囲の情報も分析して面的にリスクを把握できるようになりました。

徳島市徳島市応神町吉成

この付近では、最悪の場合、洪水による浸水が発生してその深さが3メートルから5メートルになることが想定されています。これは1階が水没して2階部分まで浸水するような深さです。

また、この付近は河川からあふれた水の流れにより、木造住宅などが倒壊する危険性のある場所です。

水害発生のおそれがある場合には、浸水が想定されない場所へ早期に立退き避難することが必要です。

避難場所や避難経路などについてはお住まいの地域のハザードマップをご確認ください。

この付近では、最悪の場合、津波による浸水が発生してその深さが50センチメートルから3メートルになることが想定されています。これは床上浸水に相当する深さです。

津波発生のおそれがある場合には、浸水が想定されない場所へ直ちに立退き避難することが必要です。

避難場所や避難経路などについてはお住まいの地域のハザードマップをご確認ください。

徳島市のハザードマップを見る

⚠ 選択した地点とその周辺で最も危険な災害リスク情報を表示しています。また、掲載情報は今後更新される可能性があります。詳細は注意事項をご確認ください。

住所検索に戻る ホームへ戻る

20m～  
10～20m  
5.0～10m  
3.0～5.0m  
0.5～3.0m  
0.0～0.5m

最新の状況などは当該市町村にご確認ください。  
「指定緊急避難場所」について 市町村別公開日・更新日一覧

<https://disaportal.gsi.go.jp/>

# 吉野川水系流域治水プロジェクト ～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和7年度の取組  
吉野川ダム統合管理事務所

## 防災教育の取組（被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策）

➤ 地元中学生を対象に、ダムへの理解や防災意識の向上につながるよう、防災教育を実施。

○地元中学生を対象に「三好ジオパーク」防災教育の一環として、ダムの役割と重要性を知ってもらうダム見学会を実施。  
・地元の中学校（三好中学校・池田中学校）が参加。池田ダムの重要性を学ぶとともに、通常は一般公開していない池田ダムのゲート管理橋や発電所などの施設を見学。

○実施日： 令和7年10月17日（金）、11月26日（水）

○参加者： 東みよし町立三好中学校（39名） 三好市立池田中学校（75名）



池田ダムのゲート管理橋見学（ドローン撮影）



座学にて三好ジオパーク・ダムの役割を説明  
(説明：三好市・吉野川ダム統合管理事務所)



池田ダムの管理橋にてゲート設備の見学  
(説明：水資源機構 吉野川上流総合管理所)



池田発電所にて発電施設を見学  
(説明：四国電力(株))

# 吉野川水系流域治水プロジェクト

～日本一の暴れ川から命と資産を守る治水対策～

令和7年度の取組  
四国山地砂防事務所

## 大規模土砂災害（河道閉塞等）の対応を関係機関等と連携して実施 （被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

- 吉野川流域で発生する大規模土砂災害（河道閉塞等）は、四国地方整備局（四国山地砂防事務所等）、徳島県・高知県及び吉野川流域の関係市町村等の関係機関が連携して、災害対応（土砂災害防止法に基づく警戒避難、緊急調査（現地調査）等）を実施する。
- 特に河道閉塞による湛水（天然ダム）が発生した場合、四国地方整備局（四国山地砂防事務所等）が主体となって「緊急調査（現地調査）」を実施するとともに、徳島県・高知県及び関係市町村に四国地方整備局が「土砂災害緊急情報」を提供する。
- 四国山地砂防事務所では、四国内の市町村を対象に大規模な土砂災害が発生した際に各機関のとるべき対応および連携内容の確認を目的とした学習型訓練を順次実施している。今年度は、令和8年1月29日に徳島県つるぎ町において実施した。訓練には国・県・町など関係機関が参加し、つるぎ町からは兼西つるぎ町長をはじめ、防災に関する課の35名が訓練に参加した。

### 河道閉塞の発生

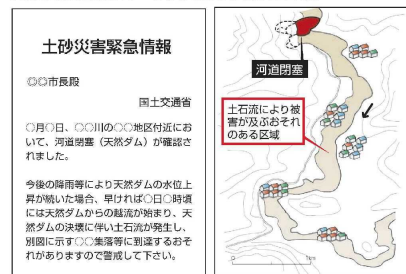


### 大規模土砂災害対応訓練を関係機関と連携して実施

- 日 時：令和8年1月29日（木）13:00～17:00
- 場 所：徳島県つるぎ町就業改善センター
- 参加者：四国地方整備局（防災部、河川部、四国山地砂防、徳島河川国道）、徳島県、つるぎ町、徳島地方气象台、自主防災組織連絡協議会、社会福祉協議会、美馬警察署、美馬西部消防組合消防本部（消防団）、四国山地砂防ボランティア協会 約100名
- 内 容：降雨開始から、災害発生箇所における初動対応、土砂災害緊急情報を受けた警戒避難対応、応急対策までを対象に訓練を実施。

### 土砂災害緊急情報の通知

土砂災害緊急情報のイメージ（河道閉塞に起因する土石流）



市町村長が住民への避難を指示（災害対策基本法第60条）等

土砂災害から国民の生命・身体を保護



訓練実施状況

平澤事務所長

兼西つるぎ町長

「土砂災害（河道閉塞）緊急情報」の発令イメージ  
※『土砂災害防止法の一部改正について（平成23年5月1日施行）』パンフレットより抜粋



# 流域治水の自分事化に向けた 取り組み計画について ～令和7年度時点～

令和7年3月17日

吉野川水系流域治水協議会

吉野川下流大規模氾濫に関する減災対策協議会  
吉野川中流大規模氾濫に関する減災対策協議会

# 吉野川水系流域治水協議会(令和7年度の取組み計画)

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 吉野川流域の思いをつなぐ

- 上下流交流会の開催
- 川と人をつなぐ取り組み (NPO法人等)
- 吉野川を舞台にしたイベントの開催 (NPO法人等 1回 5万人)

## 連携活動

- 県内市町村と大学、自主防災との危機管理に関するワーキング会議の実施(徳島県)
- 行政と県内メディアの連携(国)

## 流域治水の広報

- 防災パネル展を実施(国、4市4町、(徳島市、美馬市、吉野川市、阿波市、北島町、つるぎ町、石井町、上板町))
- イベントにおけるPR活動
- 土砂災害防止月間の広報(関係機関等でのポスター掲示、のぼり旗・横断幕・懸垂幕の設置、パネル展等)(国、徳島県)
- OURよしのがわで啓発活動を実施(国 6回)
- 広報誌を活用した防災活動実施状況の住民周知(藍住町 4回、上板町 3回、鳴門市 3回)
- Webサイトにおける洪水時避難に役立つ情報、流域治水協議会・減災対策協議会の取組みについての掲載(国)
- 流域治水キャラバンの実施(徳島県、24市町村)
- 流域治水パンフレットの作成(徳島県)

## 教育活動

- 吉野川現地(フィールド)講座、吉野川流域講座の開催(国 2回程度)
- 水系内小学校を対象に防災教育を実施(国、三好市)
- 自主防災組織等からの依頼による防災研修会、出前講座(上板町 4回、鳴門市 20回、阿波市 13回)
- 防災出前授業(学校等)や防災出前講座(地域の自治会等)を実施(徳島県)
- 小中学校、自主防災会等への防災出前講座を実施(つるぎ町 7回 230人)**
- 中学生等を対象としたダムの役割・重要性に関する学習会の実施(国、水資源機構)
- 放流警報周知会の開催(国、水資源機構)
- 自治体等の防災担当者に向けた気象防災ワークショップの開催(気象台)
- 各上流ダムによる、首長や地元自治体に対する個別説明の実施(国、水資源機構)
- 治水・利水の勉強会(国・鳴門市)**

## リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域、**内外水一体型水害リスクマップ**等の公表
- 避難判断に資する水害リスクを踏まえた「洪水の勘どころ」作成
- 防災マップの作成、配布、洪水土砂災害ハザードマップの配布
- 危機管理型水位計の機器更新(国 12箇所)
- 山地災害危険地区情報(高知県防災マップ)の更新(高知県林業振興・環境部)
- SNSを活用した水位等のリスク情報の発信(国、徳島県、藍住町)
- 洪水予報河川で「緊急速報メール」サービスを活用(14市町村)
- 地域情報チャンネルの開設による水害リスク情報の周知(石井町)
- 浸水想定水面高のマーキングによる危険箇所のみえる化(石井町)
- 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域の指定、公表(高知県管理区間)
- 防災気象情報をリアルタイム(テレビ会議)で自治体向けに提供(気象台)
- 市町村防災対応に資するよう適宜ホットラインを実施(気象台)

## 訓練活動

- 排水ポンプ車操作訓練(国 1回 8業者 各5~6人、美馬市 1回 5人程度)
- 水防工法技術講習会(国 2回)
- ~~住民参加型の土砂災害避難訓練(国 1回 30名程度)~~
- 市民総合防災訓練(徳島市)
- 住民参加型の避難訓練を実施(上板町 1回)
- 大規模土砂災害対応訓練を実施(国 1回)**
- 自主防災組織等の避難訓練(阿波市 10回)**

## 水防活動の支援

- 水防団との訓練を実施(国、徳島市、つるぎ町)
- 河川協力団体・水防協力団体の指定(9団体)
- 重要水防箇所の合同巡視(国、徳島市、石井町、鳴門市、上板町、美馬市、阿波市)
- マイ・タイムラインの作成支援(鳴門市・国)

## 水災害対策の支援

- 「田んぼダム」の取り組みを推進(徳島県)
- 農業用ため池浚渫事業の活用による支援(徳島県)
- 災害時協力井戸登録制度の創設による災害時の支援(美馬市、つるぎ町)**

## 計画策定

- 防災指針(立地適正化計画)の作成・公表
- 要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成促進(洪水:1, 492施設)
- 水害対応タイムラインの作成促進(14市町村)
- 「洪水タイムライン」の運用(徳島県)
- ~~地すべり地集落における地区防災計画の策定検討(大豊町)~~
- 避難確保計画作成推進事業を活用した支援(徳島県)
- とくしま流域水管理計画の策定推進(徳島県、藍住町、美馬市、三好市)
- かわまちづくりの推進

### ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

### ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

### ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 吉野川水系流域治水協議会(令和7年度の取組み計画)

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)

## 吉野川流域の思いをつなぐ

- 上下流交流会の開催①
- 川と人をつなぐ取組み② (NPO法人等)
- 吉野川を舞台にしたイベントの開催③ (NPO法人等 1回 5万人)

## 連携活動

- 県内市町村と大学、自主防災組織との危機管理に関するワーキング会議の実施(徳島県)④
- 行政と県内メディアの連携(国)

## 流域治水の広報

- 防災パネル展を実施(国、4市4町、(徳島市、美馬市、吉野川市、阿波市、北島町、つるぎ町、石井町、上板町))
- イベントにおけるPR活動
- 土砂災害防止月間の広報(関係機関等でのポスター掲示、のぼり旗・横断幕・懸垂幕の設置、パネル展等)(国、徳島県)
- OURよしのがわで啓発活動を実施(国 6回)
- 広報誌を活用した防災活動実施状況の住民周知(藍住町 4回、上板町 3回)
- Webサイトにおける洪水時避難に役立つ情報、流域治水協議会・減災対策協議会の取組みについての掲載(国)
- 流域治水キャラバンの実施(徳島県、24市町村)
- 流域治水パンフレットの作成(徳島県)



①上下流交流会の開催



②川と人をつなぐ取組(NPO法人等)



③吉野川を舞台にしたイベントの開催(NPO法人等)



④自主防災組織とのワーキング会議(徳島県)



⑤防災パネルによる啓発(北島町・徳島市)



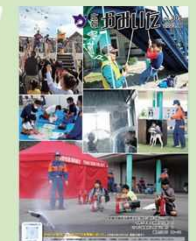
⑥イベントにおけるPR活動(国)



⑦土砂災害防止月間の広報(国、徳島県)



⑧広報誌を活用した情報発信(国、上板町)



## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 吉野川水系流域治水協議会(令和7年度の取り組み計画)

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)



⑨防災教育の実施(三好市)



⑩自主防災組織からの依頼による防災講座(鳴門市)



⑪放流警報周知会(国、水資源機構)

## 教育活動

- 吉野川現地(フィールド)講座、吉野川流域講座の開催(国 2回程度)
- 水系内小学校を対象に防災教育を実施(国、三好市)
- 自主防災組織等からの依頼による防災研修会、出前講座(上板町 4回、鳴門市 20回、阿波市 13回)
- 防災出前授業(学校等)や防災出前講座(地域の自治会等)を実施(徳島県)
- 小中学校、自主防災会等への防災出前講座を実施(つるぎ町 7回 230人)**
- 中学生等を対象としたダムの役割・重要性に関する学習会の実施(国、水資源機構)
- 放流警報周知会の開催(国、水資源機構)
- 自治体等の防災担当者に向けた気象防災ワークショップの開催(気象台)
- 各上流ダムによる、首長や地元自治体に対する個別説明の実施(国、水資源機構)
- 治水・利水の勉強会(国・鳴門市)**

## リスク情報等の提供

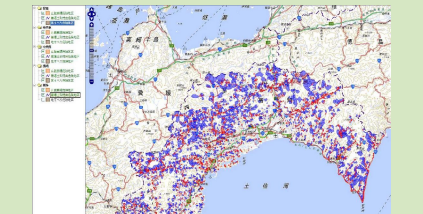
- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域、**内外水一体型水害リスクマップ等の公表**
- 避難判断に資する水害リスクを踏まえた「洪水の勘どころ」作成
- 防災マップの作成、配布、洪水土砂災害ハザードマップの配布
- 危機管理型水位計の機器更新(国 12箇所)
- 山地災害危険地区情報(高知県防災マップ)の更新(高知県林業振興・環境部)
- SNSを活用した水位等のリスク情報の発信(国、徳島県、藍住町)
- 洪水予報河川で「緊急速報メール」サービスを活用(14市町村)
- 地域情報チャンネルの開設による水害リスク情報の周知(石井町)
- 浸水想定水面高のマーキングによる危険箇所のみ見える化(石井町)
- 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域の指定、公表(高知県管理区間)
- 防災気象情報をリアルタイム(テレビ会議)で自治体向けに提供(気象台)
- 市町村防災対応に資するよう適宜ホットラインを実施(気象台)

## 訓練活動

- 排水ポンプ車操作訓練(国 1回 8業者 各5~6人、美馬市 1回 5人程度)
- 水防工法技術講習会(国 2回)
- ~~住民参加型の土砂災害避難訓練(国 1回 30名程度)~~
- 市民総合防災訓練(徳島市)
- 住民参加型の避難訓練を実施(上板町 1回)
- 大規模土砂災害対応訓練を実施(国 1回)**
- 自主防災組織等の避難訓練(阿波市 10回)**



⑫気象防災ワークショップの開催(気象台)



⑬山地災害危険地区情報の更新(高知県)



⑭SNSを活用した水害リスク情報の周知(国、徳島県、藍住町)



⑮地域情報チャンネルによるリスク周知(石井町)

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

# 吉野川水系流域治水協議会(令和7年度の取り組み計画)

流域にも視野を広げる  
(自分のためにも、みんなのためにも)



⑩水防団との訓練(国、1市2町)



⑪重要水防箇所の合同巡視(国、3市2町)



⑫洪水タイムラインの運用(徳島県)



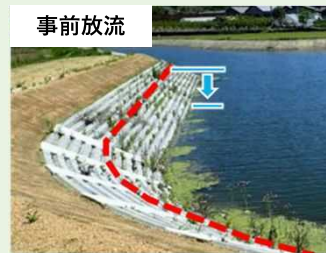
⑬とくしま流域水管理計画の策定推進(徳島県、三好市)  
(参考:河内谷川流域水管理計画 ※R5年度策定)



⑭田んぼダムの取組推進(徳島県)



低水位管理



事前放流

⑮農業用ため池浚渫事業の活用による支援(徳島県)

## 水防活動の支援

- 水防団との訓練を実施(国、徳島市、つるぎ町)
- 河川協力団体・水防協力団体の指定(9団体)
- 重要水防箇所の合同巡視(国、徳島市、石井町、鳴門市、上板町、美馬市、阿波市)
- マイ・タイムラインの作成支援(鳴門市・国)

## 水災害対策の支援

- 「田んぼダム」の取り組みを推進(徳島県)
- 農業用ため池浚渫事業の活用による支援(徳島県)
- 災害時協力井戸登録制度の創設による災害時の支援(美馬市、つるぎ町)

## 計画策定

- 防災指針(立地適正化計画)の作成・公表
- 要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成促進(洪水:1,492施設)
- 水害対応タイムラインの作成促進(14市町村)
- 「洪水タイムライン」の運用(徳島県)⑫
- 地すべり地集落における地区防災計画の策定検討(大豊町)
- 避難確保計画作成推進事業を活用した支援(徳島県)
- とくしま流域水管理計画の策定推進(徳島県、藍住町、美馬市、三好市)⑬
- かわまちづくりの推進

## ①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

## ②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

## ③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みがられるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<b>① 知る機会を増やす</b> ◎吉野川流域の思いをつなぐ   地域   企業   団体   ◎水災害、流域治水の広報   地域   ◎連携活動   地域   個人	NPO法人等による川と人をつなぐ取り組みの実施			
	広報誌、Webサイト、防災パネル展等を活用した取り組み状況の啓発・周知 土砂災害防止月間の広報			
	県内市町村と大学、自主防災組織との危機管理に関するワーキング会議の実施 行政とメディアの連携強化			
	<b>② 自分事と捉えることを促す</b> ◎リスク情報等の提供   地域   個人   企業・団体   ◎教育活動   地域   個人   団体   ◎訓練活動   企業	浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表		
防災マップの作成、配布、洪水土砂災害ハザードマップの更新・配布 危機管理型水位計の機器更新				
「緊急速報メール」、SNS、地域情報チャンネル等を活用した水害等リスク情報の発信				
吉野川現地（フィールド）講座、吉野川流域講座、出前講座を通じて流域治水の取り組みを説明 自主防災組織、自治体等からの依頼による防災出前講座、ワークショップの開催				
排水ポンプ車操作訓練の実施 ● <del>住民参加型の土砂災害避難訓練の実施 ●</del> 水防工法技術講習会の実施 ● ●				大規模土砂災害対応訓練を実施 ●
<b>③ 行動を誘発する</b> ◎計画策定   地域   個人   企業・団体   ◎水災害対策の支援   個人   企業   団体   ◎水防活動の支援   地域   個人   企業・団体	防災指針（立地適正化計画）の作成・公表			
	要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進 水害対応タイムラインの作成促進			
	「洪水タイムライン」の運用 <del>地すべり地集落における地区防災計画の策定検討</del>			
	とくしま流域水管理計画の策定推進			
	かわまちづくりの推進			
	「田んぼダム」の取り組みを推進 農業用ため池浚渫事業の活用による支援の実施			
	重要水防箇所の合同巡視 ● 水防団との訓練を実施 ● マイ・タイムラインの作成支援 指定緊急避難場所の指定			